令和２年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　福　陽　会

特別養護老人ホーム　サンシャインビラ

短期入所生活介護　（ショートステイ）

目　　次

１、基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２、基本方針・長期目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３、職員構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
４、会議・懇談会・委員会開催状況報告・・・・・・・・・・・４
５、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理・・・・・４
６、利用者外出・外泊・面会・保険者別入退所状況・・・・・５
７、看護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
８、生活相談員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
９、介護支援専門員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
１０、１階・２階・３階フロア・・・・・・・・・・・・・・・・９
１１、リハビリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
１２、栄養・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３
１３、職員外部研修参加状況・内部研修・・・・・・・・・・・１４
１４、苦情・事故・排泄・委員会報告・・・・・・・・・・・・１５
１５、忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・・・・・・・・・１７
１６、クラブ活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
１７、防災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
１８、使用物品等・シーツ等リネン類の発注管理・・・・・・２０
１９、ボランティア・実習生・研修生受け入れ・・・・・・・２１
２０、地域交流参加等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・２１
２１、設備改善及び備品購入状況・・・・・・・・・・・・・・２１
２２、年間行事の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・２２

１、短期入所生活介護事業計画・・・・・・・・・・・・・・・２３

令和2年度事業報告（総括）

1．基本目標

・本年度の重点目標である「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を合言葉に全職員で福陽会の理念を実現すべく取り組みを行いました。利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすということに努めて参りました。しかし、令和３年１月５日に施設内での新型コロナウイル陽性者があり、地域の方々はじめ関係機関の皆様方に多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

東京都福祉保健局、東京都社会福祉協議会、西多摩保健所、福生市等よりの支援や指導助言をいただき、お陰様で２月 24 日に完全収束を迎えることができました。収束までのことを振り返りますと、法人内の協力体制と施設顧問医師からの指導助言に深く感謝すると共に、今後においても心強く感じます。

完全収束までの期間、そしてこれからも職員一同一丸となり、皆様方のご理解とご協力をいただきながら、感染予防対策と蔓延防止対策の徹底を継続していきます。

令和２年 11 月には角化型疥癬の陽性者を確認し、疥癬に対する感染拡大の予防策についても、西多摩保健所の指導助言をいただきました。

・令和２年は年度当初より、新型コロナウイルに対する感染予防の観点から外部との交流を最小限にさせていただいていたことにより、利用者様の生活は施設内にとどまることになり、外部との関係を広げることができませんでした。ご家族様等とのご面会においても、リモートでの面会や窓越しの面会、電話での会話等とさせていただきました。

・法人理念である「季節感のある行事」の実施については、開催の形態を工夫しながら新しい形での開催といたしました。例年に比べると小規模な形での開催でしたが、利用者様に喜んでいただき職員も達成感のある行事が出来ました。

福陽会基本理念

① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する

② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する

③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

年間を通しての利用者様は以下の通りであす。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2882	2941	2972	3091	3091	2929	3109	2908	2959	2788	2503	2905	35078

・年間の利用者数は延べ 35078 人で、１日平均約 96 人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。例年であれば常時満床となる 100 名の利用者様の生活支援をさせていただいているのですが今年度は、年度当初から新型コロナウイルス対策で新入所をお受けするペースがゆっくりであったことに加え、年が明けて１月５日から新型コロナウイルス感染症の収束までの期間は、新入所をお受けできなかったことと、その後も新入所をお受けする際の個室対応で２人部屋をお一人で使っていただく等のために１００床を満床にすることが困難であったために稼働率を高位に保つことができませんでした。

・要介護度については令和３年３月３１日現在において、要介護度２の方が１名、要介護度３の方が 22 名・介護度４の方が 35 名・要介護度５の方が 40 ということで要介護度においても例年に比べると平均要介護度が軽くなっています。要因としては心身の状況に変化があり区分変更が必要な状況になっても感染予防

を考えると、介護認定の調査員さんと利用者様との接触を避けるために区分変更申請を控えているからという理由があります。年度の下半期は、疥癬・新型コロナウイルスと、感染症との闘いの日々でした。

・「施設で最期をと迎えたい」いうターミナルケアを希望される利用者様、ご家族様等も多くあり今年度は15名の方を看取らせていただきました。感染症の予防対策と蔓延防止策等を含め、医療ニーズは今年度においても高くあり、施設顧問医師への依存度が大きくありました。ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉をたくさんいただき、それが職員一同の励みとなっています。

・今年度の大きな出来事として、11月に、角化型疥癬の陽性者があり、普通疥癬の感染者が4名出てしまったこと、その後年が明けて1月になり、新型コロナウイルの陽性者があり、それにより結果として利用者様4名と職員3名の罹患がありました。その2例の感染症発症に対する時の想いは職員一同忘れることは出来ません。まさに毎日毎日が闘いという状況でした。新型コロナウイルスは現在も猛威を振るっています。ワクチン接種が進むだろうことを考え合わせても、その後の様子はまだ見通しのつかない状況ですが、どのような状況にも気持ちが負けることのないように取り組みを行い、毎日を利用者様も職員も笑顔多く過ごして免疫力を上げていけるようにと令和2年度を振り返ります。

2．基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に地域社会との交流を深めることが重要なのですが、令和2年度においては地域社会との交流が困難でした。

・職員一人ひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
利用者様、ご家族様等に満足していただくことで職員のモチベーションアップにもなりました。

・毎年恒例となっている施設内で行う各行事へ、地域の方々にも参加していただくということは、困難な状況でした。行事の開催方法を工夫して実施することで、行事の規模は小さくなりましたが、ほぼ予定通りに実施することが出来ました。行事や活動に参加した利用者様の様子は「サンシャインビラたより」に掲載し、ご家族様等へ利用者様の行事への参加写真と共にお送りするなどとして生活の様子をお伝えし、少しでも安心していただけるようご家族様等とコミュニケーションを取りました。

・介護保険制度の柱ともなっている「尊厳の保持」「自立の支援」の考えのもとにサービス提供が出来るように、サービスの質の向上を図るようにとの目的から、職場内で毎月2回の内部研修と様々な場面でのOJTを強化し、職員の資質の向上を図りました。

・疥癬と新型コロナウイルスの発症があり、皆様方には多大なご心配やご迷惑をおかけいたしましたが、それらの発症により新たに学べたことがたくさんありました。それらを忘れることなく、職員一人一人が確実に身に付けて、職場内でも私生活でも、感染予防策と感染の蔓延防止策とを実行し続けます。

3．長期目標

（1）法人理念の実現向け、副理事長を中心として、法人内の各事業所同志が連携を深めました。
特に、感染症発生時の協力体制は心強く感じました。その結果職員一同、頑張ることができました。

（2）地域との交流を大切に、福祉ニーズに応えるべく努めることが使命でありますが、今年度におきましては感染予防のために、その使命を果たすことができませんでした。

（3）職場内研修の充実により職員一人ひとりの意識向上に取り組むとともに、感染予防が重要な年度でしたが、職場内研修の実施方法の工夫等により計画通り進み、職員の資質の向上につながりました。

職　員　構　成

令和3年3月31日現在

担当職	職名		職員	非常勤
運営管理	設顧問医			1
	産業医			1（外部委託）
	施設長		1	
	副施設長		1	
経理	事務員		1	2
保守管理	介助員		1	1
介護	生活相談員		1 1（兼務）	1（兼務）
	ケアマネージャー		1	1（兼務）
	1F	リーダー	1	6
		サブリーダー	1	
		担当者	6	
	2F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担当者	5	
	3F	リーダー	1	7
		サブリーダー	1	
		担当者	7	
医務	医師		—	1（施設顧問医） 2（外部委託）
	看護リーダー		1	—
	看護師		2	—
	准看護師		—	2
調理	管理栄養士		1 1（兼務）	—
	栄養士		1（兼務）	
	調理員リーダー		1	4
	調理員		2 2（兼務）	
機能訓練	柔道整復師		1	—
	理学療法士		—	1

会議･懇談会･委員会開催状況報告書

介護保険法とその他法令や条例等を理解し、利用者様の安心で安全な生活支援を行うために職員間で共通の認識を持つために各種会議と委員会を行いました。各種会議と各種委員会の開催には、開催方法の工夫等により、三密を避け感染予防に努めました。主要会議の開催状況は以下の通りです。　例年は、その他の会議として第三者委員の方からのご意見等を会議録にして全職員の共通認識としましたが今年度は外部の方の来園を制限させていただいたことにより、第三者委員の方のご意見を伺うことができませんでした。

・運営会議	12 回	・拘束廃止委員会	12 回
・衛生会議	10 回	・褥そう防止委員会	12 回
・感染症対策会議	13 回	・厨房委員会	12 回
・衛生委員会	10 回	・口腔衛生管理委員会	12 回
・全体会議	12 回	・入所判定会議	17 回
・事故防止会議	47 回	・利用者懇談会	6 回
・虐待防止会議	12 回	・苦情対策会議	12 回
・サービスマナー委員会	9 回	・栄養会議	33 回
・防災会議	15 回	・行事計画会議	12 回

職員の健康管理･労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師((以下 産業医と表記)により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施しています。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、インフルエンザ・ノロウィルス・新型コロナウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為の指針を踏まえ各職員が機動的に行動できるように施設顧問医師を中心に、網羅的な研修･指導を行います。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めています。

職員の事故防止の為に日々、設備・備品の点検を行い不備や不具合にできる限り迅速に対応しています。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作成を継続します。

(6) その他

新型コロナウイルスの感染症に対し、感染予防策を強化して取り組みましたが1月5日に職員の陽性が確認され、即座に感染拡大防止策等を実施しました。2月24日に完全収束を迎えましたが、結果として利用者様4名職員3名の感染がありました。

令和２年度　利用者外出･外泊･面会状況

項目 日	外　出		外　泊		面　会		
	人　数	延回数	人　数	延日数	対利用者	延人数	１日平均
4	0	0	0	0	3	40	1.3
5	5	1	0	0	7	15	0.5
6	10	2	0	0	13	37	1.2
7	0	0	0	0	9	30	1.0
8	0	0	0	0	14	40	1.3
9	11	2	0	0	16	37	1.2
10	4	1	0	0	9	12	0.4
11	5	1	0	0	16	24	0.8
12	0	0	0	0	10	20	0.6
1	0	0	0	0	4	7	0.2
2	0	0	0	0	3	3	0.1
3	30	4	0	0	8	9	0.3
合　計	65	11	0	0	112	274	0.7

令和２年度　保険者別入退所状況

R2.4.1～R3.3.31

市区町村	入　所		退　所（含死亡）		合　計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市		4	1	2	4	3
あきる野市		3		1	3	1
立川市		1			1	
東久留米市		1			1	
稲城市		1			1	
羽村市			1			1
八王子市			1			1
練馬区		1			1	
福生市	3	7	6	8	10	14
埼玉県日高市				1		1
合計	3	18	9	12	21	21

看　　護

１、医務診察

定期な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

① 内科	金曜日	青山美穂医師	内科（施設顧問医師）
	木曜日	宗岡雅子医師	内科
② 精神科	月曜日	高妻雅和医師	精神科
③ 歯科	火・金曜日	若林偵子歯科医師	歯科

２、利用者の健康管理

① 月１回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。

② 年一回の利用者健康診断を 100 名の利用者様が受けました。

③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。
健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明してくださいました。また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。

⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（100 名）

⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。

⑧ 11 月 17 日に角化型疥癬の感染者が１名あり、西多摩保健所の指導助言をいただきながら感染予防と収束に向けて取り組みを行いましたが、普通疥癬４名の感染がありました。
最終的に角化型疥癬の利用者様の陰性を確認できた２月 24 日に収束しました。

⑨ １月５日に新型コロナウイルスの発症があり、西多摩保健所の指導助言や各関係機関との連携法人間の連携等により、利用者様４名と職員３名の陽性者が出ました。職員一同緊張感を持ち感染拡大防止に全力を尽くし、２月 24 日に収束を迎えることができました。

３、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の防止に役立ちました。新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについてはその時々で状況を見ながら相談しながら進めました。

４、職員定期健康診断

① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。

② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

５、感染症対策

① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
特に、新型コロナウイルス発症時には施設顧問医師の存在は、職員一同心の支えとなりました。

② 感染症を持ち込まないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと行っていましたが

ウイルスが入り込んでしまえば感染の蔓延を防止することは至難の業であることを今回再認識しました。今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

６、看取り介護の充実

① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。

② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。
令和２年度は15名の方を施設で看取らせていただきました。利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。

③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行い、利用者様を偲ぶとともに、職員の精神的負担の軽減につながりました。ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

７、褥そう予防

① 施設での褥そう発生がありましたが、対象利用者様は完治しています。

② プレーデンスケールによりアセスメントし、計画的に対策を実施しました。

③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。

８、その他

① 利用者様の心身の状態変化時等は必ずご家族等に連絡し、連絡時の内容等は生活相談員が同席し記録に残しました。

② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。
0点以外の方は、概ね3ヶ月毎に確認しました。

③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。

④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生 活 相 談 員

令和２年度の全体目標は「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」でした。この目標の実現に向けて、生活相談員として２つの目標を掲げました。一つは、利用者様が地域の一員として社会との繋がりを感じながら生活できるように支援すること、外出の機会を増やし、社会資源を活用することでした。二つ目は、地域の皆様にとって、必要な時にいつでも「介護」について相談ができ、利用できる施設であるために相談員としての役割を果たすことでした。

しかし、昨年度末から始まった新型コロナウイルスの感染症の感染拡大により、当初考えていた目標の達成は困難になりました。緊急事態宣言の元で一般市民も不要不急の外出を控えるよう要請される中、利用者様の余暇活動としての外出は控えざるを得ませんでした。それでも、規制が解かれた時には、近くの公園に散歩に出掛け、春の桜や秋のコスモスを見ていただくことができました。地域との繋がりとして長年、施設に来ていただいていたボランティアの方々や、クラブ活動の講師の先生方も来ていただいくことができませんでした。各種の実習生の受け入れも中止しました。しかし、ボランティアの方が、塗り絵の下絵等を届けてくださり、文化祭の時には、華道の講師がリモートで利用者様に生花の指導を行ってくださいました。これまでとは違う新しいボランティア活動を通して、利用者様が地域の皆様と繋がることができました。

ご家族様等の面会は、感染防止のために、昨年度の後半から中止とさせていただいています。長い間、面会ができない状況が続いていますが、早い段階からリモートによる面会を導入し、ご希望の皆様に

ご利用いただいています。ご家族様はモニターを通して利用者様の顔を見て、言葉を交わすことができ「良かった」「安心しました」と喜ばれています。ターミナルケアの方には、医師から特別な許可をいただき、感染防止対策を十分に行なった上で、個室における面会を行っています。大切なご家族様に会えない不安や寂しさはいかばかりか想像に難くありません。ご家族様には、電話で利用者様の様子を伝え、写真をお送りするなどとしてきました。

二つ目の目標に関係する入所については、施設内で感染症が発生したために一時期入所の受け入れを中止していました。入所受け入れの再開後も、入所された後には、二人部屋を個室として用い、一定期間個室対応をすることで、感染防止を行ってきました。そのため、用いることのできるベッド数が限られています。そのため、稼働率を高く維持することができませんでした。しかし、そのような状況でも、年間を通して新しい入所者 21 名を迎えることができました。居宅からの方が 8 名、介護老人保健施設から 6 名、医療機関から 6 名、その他 1 名でした。また、退所者は 21 名でした（その内 2 名は入院）、入所後は数日間個室で過ごされるため、ご家族や前の施設・病院からの情報をより細かく各部署に伝達すると共に、特に心理面のサポートに気を配りました。入所者は例年に比べ幾分少なかったとはいえ、多くの入所相談を受け付けできる限り入所を受け入れることで介護老人福祉施設としての役割を果たすことができました。

利用者様への相談援助は、生活相談員としての最も大切な行うことの一つと考えています。「相談員を呼んで」と言われた時には、すぐにその方を訪ねて要望や苦情を伺い、問題解決を図りました。各階に出向いた折には、なるべく多くの方に挨拶し言葉を交わし、会話の中から気持ちを知るようにつとめました。問題を抱えている方は勿論ですが、不安や苦痛を感じていても人に伝えることができない方が多いので、目立たない方にこそ気を配るように努力してきました。

また、利用者様の声を各種会議で取り上げ、それによって施設全体の介護の質の向上に取り組んできました。

施設生活の中で楽しみを見つけられるよう毎年行事や各種活動に力を入れてきました。三大行事も小行事も例年とは形式を変えて各フロアーで実施しました。他部署と協力し、新しい形で利用者様に楽しんでいただくことができました。新たな試みとして、リモートのコンサートにも参加することができました。

感染者の発生という困難な時期がありました。特に、コロナの発生時には生活相談員が発生フロアーで発生から収束までの期間を介護職員と共に介護業務にあたり、連携を深めました。職員間の連携、施設職員全体の連携と法人内の連携、保健所等の指導助言に助けられ、力を合わせて努力したことにより、その時期を乗り切ることができました。連携の繋ぎ目としての役割を果たせたのではないかと考えています。

<u>介護支援専門員</u>

本年度の合言葉「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」をケアプラン作成にも反映できるよう意識しました。介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

利用者様の意向を尊重することを大切にし、利用者様の話を傾聴することに重点を置きました。

新型コロナウイルス等の感染予防の観点から、密にならないように考えてケアプラン会議を行いました。

・ケアプランの作成をする上では、利用者様の困難な事や援助が必要なことは勿論のこと「できること探し」に努め、　その方らしさを支援していけるような内容で作成しました。

・定期のケアプラン見直し（三ケ月、六カ月）を漏れなく行えました。
　また、状態変化に伴うケアプランの変更もその都度行いました。

・会議日程の作成は、五件程度になるよう日程調整を行い、各職種からのアセスメントを集約しました。

・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、口腔ケア等必要に応じてプランを作成しました。
　看取り後は、振り返りを行い施設としての満足度とご家族様等の満足度を確認し、職員の精神的負担の軽減に努めました。

・褥瘡ケアについては、ブレーデンスケールを用い、生活の様子もアセスメントし、計画を作成しました。褥瘡が発生した場合は、各部署連携できるように計画に反映しました。
・心身の状態が変化し、区分変更が必要な場合もありますが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から区分変更ができない状況でした。
・感染予防は今後も最重要課題だと考える、それぞれの利用者様の計画に、感染予防や新しい生活様式での過ごし方等を策定し、利用者様にも理解していただきご家族様等にも伝えていきたいと思います。

１階フロア

令和２年度は「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を合言葉に取り組みました。
新型コロナ感染症の流行により感染防止対策を徹底したため地域の行事や交流が出来たとは言えない１年でした。しかし、感染対応に追われる中でも職員間で意見を出し合い、手探り状態ではありますが工夫をしながら行事を行い利用者様に参加して楽しんで過ごしていただけるよう、相手の想いに応えられる対応を行いました。各種行事には多くの利用者様の参加を目標としていましたが、ソーシャルディスタンスを考えると少人数で順に参加するという方法で行い「みんなで一緒に楽しむ」形ではありませんでした。

・フロアー活動費について
予算の 10,000 円は和菓子等の購入に使いました。

・過ごし方について
密にならないで過ごすことから、居室で過ごす時間や臥床時間が増えてしまっていたため、ADL 低下の防止を考えて、生活の中でメリハリを付けられるよう、多方面からアセスメントして「その方らしさ」を出せるように支援しました。

・人材育成について
新入職員へはエルダーメンター制度を活用して育成に取り組みました。
エルダーはサブリーダー、メンターはリーダーが担当し、その職員の力量に合わせた指導を行いました。
内部研修にも積極的に参加できるように調整しました。研修はリモートや資料を配布し、分からないことなどがないように確認を行いました。
一般職員たちに対しても、定期的に利用者様の心身の状況や職員体制に応じて業務内容を見直し円滑に無理のない業務が行こなえるような視点を持って業務改善に取り組みました。

・褥瘡防止について
褥瘡にリスクが高い利用者様には特に注意し、全身状態の観察を行い、変化を早期に発見し多職種連携し褥瘡の発生と悪化の防止に努めました。
正しく統一したケアが行えているかということをリーダーと サブリーダーの２名で確認し、助言指導を行いました。しかし、残念ながら１名下肢に褥瘡が出来てしまいましたが、現在は完治に向かっているとナースから話がありました。

・事故防止
ヒヤリハット発生時は直ちに状況の検証を行い、対応と対策を立てて実行して事故防止に努めました。
事故防止のためのフロアーのマニュアルは、定期的に見直して安全面に注意出来ているか、職員本位の業務になってないか、また安全面ばかりを重視することがないように利用者様一人ひとりの「その方らしさ」を大切にしながらも事故を防止出来るように行いました。

・感染症の予防について
令和２年度は、おそらく今までで一番感染予防に重点を置いた一年であったと思います。今までの標準感染予防策を更に充実し、加えて新型コロナ感染症に対して更に徹底した予防策を実行しました。

1月に実際に施設内で陽性者が出たことで更に緊張感を持ち感染予防策を徹底して、大変な思いをした1年では有りましたが職員の感染予防についての知識、危機管理意識の向上も明らかに見て取れ、今後の今後の業務に役立っていると思います。
嚥下体操については、感染予防対策により、飛沫防止のために年度の途中より中止し口腔ケアに重点を置き嚥下機能低下の防止に努めました。
・災害時等の対策について
火災、自然災害、感染症等により、利用者様の生活が継続できなくならないように施設内のマニュアルを遵守するとともに、職員間に周知できるようにしました。
・看取り介護
静養室が1階にあることから、お看取りをさせていただく機会が多くあることが1階フロアーの特徴です。利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという想いで、ケアさせていただきました。ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあり振り返りや内部研修等により、職員の精神面への配慮に努めました。

2 階 フ ロ ア

「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を合言葉として「安心・安全」に毎日明るく過ごせるように職員一丸となり取り組みました。
・尊厳を保持と自立の支援
利用者様一人ひとりと関わる時間を大切にし、毎日の生活の中での不満や要望を職員が受け取り、それらに寄り添ったサービス提供を行いました。また、業務優先になりやすい傾向の職員もあったため、利用者本位の利用者目線に立って業務ができるように改善を図りました。
職員間で利用者様の情報を共有し、その方らしさを重視しました。
・レクリエーション
感染症の予防対策として三密を避けた結果、居室で過ごす時間が多くなったことで活動性が低下してしまうのではないかと考え、少人数でのレクリエーション活動を実施しました。さらにレクリエーションのバリエーションも充実させました。利用者様と職員が一緒になって談笑しながら楽しくレクリエーション活動を行いました。
・居室担当の役割と責任
生活の様子等、個人記録への入力について、職員に力量の差と意識の差がありました、サブリーダーと協力して入力状態を確認して、それぞれの職員に必要な指導を行い、記録の充実ができたとともに、利用者様の心身状況変化を他部署も含めて職員間で共通認識を持つことに役立ちました。
・事故防止
様々に起きる事柄について、ヒヤリハットで報告し検証することにより再事故を防止しました。職員間で注意し合い、教え合うということにより職員一人ひとりの中に「事故を起こさないように」という意識が高まりました。
①誤嚥について、必要な方への食前の嚥下体操やアイスマッサージ等を行いました。
②誤薬について、確認をしっかり行なうことに重点を置きました。また、ナースとの連携が大切であると思い、連携の強化を図りました。
③褥瘡の発生について、事前に前兆を感じ取り発赤の段階で多職種連携により、介助方法を見直したり、エアーマットを使用したりと対策を立てて取り組み、成果がありましたが、残念なことですが褥瘡の再発が1例ありました。

・感染症予防

標準感染予防策の徹底を、改めて強化しました。

①疥癬の発生について、角化型疥癬の陽性者が１名あり、他者への感染がありました。西多摩保健所の指導助言もいただきさらなる感染拡大を防止するように取り組んだ結果、普通疥癬４名の感染がありました。感染拡大を防止するために利用者様にも職員側にもストレスが大きくかかるため、体の状態だけでなく精神面の状態把握に努めストレスの軽減を図りました。

②新型コロナウイルスの感染対応についても、３階での発生から収束までの状況を共有しながら感染防止に努め増した。収束後に改めて、施設マニュアルを基にしてフロアーマニュアルを作成し感染予防を行っています。職員の体調不良時には出勤前に施設に連絡し、医療機関を受診してからその結果を施設に報告し、出勤の相談と調整を行い、施設内に感染を持ち込まないようにしています。

・非常災害時に備えて

災害時を想定して「炊き出し訓練」「消火器による消火訓練」「避難経路を使った避難訓練」「レッドゾーンを想定した感染拡大防止訓練」等シュミレーション訓練を行い、防災意識を高めています。

・その他

リーダー、サブリーダーを中心にミーティングを実施し、一般の職員が意見等を出しやすい環境を作り働きやすい職場作りを心がけ職員の定着を目指しました。

３ 階 フ ロ ア

「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を合言葉に認知に障害を有する利用者様が、安心して安全に生活していただくために職員一同力を合わせました。

１月５日に新型コロナウイルスの陽性者が１名あり、感染拡大を目的に予防策の徹底を図り、２月 24 日に完全収束となりました。その期間は職員一同、緊張感を持って感染への恐怖心と闘いながらの毎日でした。西多摩保健所、法人内、施設内等全ての方々に応援と指導助言を確実に実行し、何とか一日も早く収束を迎えたいという思いで取り組んだ結果、利用者様の感染者は４名、職員の感染者は３名でした。この経験を無駄にすることなく、今後も継続的に感染予防を徹底していきます。

・人材育成と介護力の向上

新入職の正職員とパート職員は、エルダーメンター制度によりサブリーダーが中心となり育成に取り組みました。感染症の予防策のために、他フロアーへの行き来に制限がありましたが、内部研修への参加方法工夫されており、施設内の共通認識と知識と技術の向上が図れました。特に「感染予防」については身を持って体験したことにより確実に身に付きました。

・生活の活性化

年度当初から、新型コロナウイルス感染症の予防策の一環として「外との交流」に制限があり、そのうえ三密を避け、ソーシャルディスタンスを保つという生活になり活動性の低下が心配されました。認知症を有する利用者様一人一人に対して、その方に合ったコミュニケーション手段を用いて、その方の気持ちを深く理解するように努め、メリハリのある生活であるようにと考えて日々のフロアーレクに重点を置きましたが、緊急事態宣言や面会の制限等というようにリスクを減らすことを第一に考える生活でした。

さらに、感染症の発生時には感染拡大防止を優先する生活になってしまいました。

・感染症の予防

利用者様の食事前後の手洗い介助、トイレ誘導後の手洗い介助、手の触れる箇所の消毒は定着していましたが、それに加えて各介助方法等の見直しも行い、職員自身が感染症の媒介者にならないように注意して健康管理を自覚を持って行っていました。

家族も含めて自分自身の体調不良時には必ず医療機関を受診してその結果を施設に報告し、勤務の相談をするということが職員の習慣になっていました。1月5日に陽性になった職員は1月2日に発熱があり、発熱と同時に施設に連絡が入ったことにより「もしかしたら・・・」という心構えが施設側に出来て、その時から利用者様と職員の体調の様子観察強化と感染予防策の強化を始めることが出来たことが感染拡大を最小限に抑えられた一因だと思います。新型コロナウイルスの感染だけでなくその他の感染症等も含め「体調を知る」ということ「報告・連絡・相談」ということが感染予防と感染拡大防止の鍵であると学びました。

・事故防止

転倒等のヒヤリハットがたくさんありました。その都度検証し、原因に対する予防策を立て、予防策を皆で実行することにより重大な事故が防げました。

・非常時に備えて

自然災害に加えて、今回の感染症も非常事態です。どのような事態になっても利用者様の生活支援ができるように、慌てないことと焦らないことを職員は身に付けていきます。

・その他

緊急事態が発生したとなった時に、日頃からの環境整備が大切です。特に新型コロナウイルスの発生時には、即座にゾーニングを行います。感染症予防策にも、蔓延予防策にも衛生管理が重要です。

リ　ハ　ビ　リ

「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」という施設の共通目標により、福陽会の理念達成に向けて取り組みました。

しかし、コロナ禍のため、地域と触れ合う時間はほとんど持てませんでした。施設職員は消毒作業に費やす時間が増え、様々なことを自粛しなければならず、利用者様の生活にも変化がありました。

・ 機能訓練の実施記録、利用者様の状態、様子等はパソコンに入力し、状態が明らかに変化のある方は、他部署との報・連・相により情報共有を図った。

・コロナ感染予防の観点から、密を避けて、利用者様の残存機能等の情報収集にはマスクと手指の消毒等を確実に行い、個別機能訓練計画を作成し、利用者様に説明した。ご家族様等には書面を郵送にてやり取りして同意を得た。

・訓練中のコミュニケーションの中から利用者様の希望や要望をアセスメントして、個別機能訓練計画策定時に検討した。

・急変の可能性が高くなった場合、皮膚トラブルを感じた場合、機能の低下や機能の向上を感じた場合は、関係部署と検討し、必要であれば個別機能訓練計画の変更を行い、その状態に合わせた計画にした。

・車椅子使用者のシーティングを考えて、クッションの検討や変更を行った。

・コロナ感染予防のために感染予防を強化して実施した。一人一人の手指の消毒の徹底、リハビリ器具の消毒、訓練の実施場所の工夫等により、一日当たりの訓練実施目標の20名は達成できなかった。

感染予防については、機能訓練指導員としての自覚を持ち職場内はもちろん私生活においても外出の自粛や消毒等を実行した。

・訓練の成果（令和3年３月３１日現在）

（機能向上が見られた方　　6名）

（機能が維持できた方　　84名）

（機能が低下した方　　8名）

・移乗動作介助、トイレ介助等、介護職員に対して指導助言をして介助方法の統一を図った。

・今年度は、地域行事が中止となり、地域とのかかわりが少なかった。
また、施設内の行事においても開催方法を工夫して各フロアーでの実施となったが準備から片付けまでかかわり、利用者様の楽しむ支援をした。
・コロナの感染が施設内でも発生し、消毒等の感染拡大予防策を徹底した。コロナの収束後も同様に予防策を　継続している。
コロナ感染予防策の一環として、介護者と利用者様の関わりを少なくすることを目的として自動ブレーキ付きの車椅子と自動体位交換機能付きのエアーマットと褥瘡予防用のムートン、クッション等を購入した。
・今年度の車椅子とベッドの点検は、数台ずつ行い軽微な修理はその都度行い、施設での修理が不可能なものは、業者に修理を依頼し、安全に快適に使用できるようにした。
・専門職として運営会議に参加することにより施設運営について理解を深め、医務診察に参加させていただくことにより、利用者様の心身の状況を深く知り、ターミナルケアの開始時もタイムリーに知ることが出来ると共に施設顧問医師から理学療法の指示書をいただくことが出来た。

次年度もコロナ対策の徹底が続くため、利用者様の活動量が多くないと考えられるため、積極的に体を動かせるように、多くの利用者様に関われるように取り組んでいきます。

（福祉用具一覧表）

車椅子	109台
歩行器（シルバーカー含む）	16台
杖（T字杖、多点杖）	13本
ポータブルトイレ	6台
体圧分散マット（ジェルマット含む）	23
エアーマット（自動体交機能付き含む）	22

施設内のベッド数

電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1 台	総数 105 台

栄　　養

今年度の全体目標である「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を実現できるよう利用者様の意見や要望を献立へ反映させながら、旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し「安心安全な食事」を提供することを目標に令和２年度は業務に取り組んできました。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間で共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思っていただけるような食事提供を目標に業務に取組みました。
また、調理の際は必ず２人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。
食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施、季節に応じたおやつの提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲込みがしやすく見た目が良いソフト食の提供も継続しています。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン・中華丼の選択も含む）　：月２回以上
誕生日食　：月１回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）　：月２回以上
パン・麺の日　：月２回以上

■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底に努めました。

次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

月に1度の体重測定結果や、年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し施設顧問医師の指導助言や多職種で検討を行い状態改善や維持・向上に努めました。特に、低栄養リスクが高い方や褥瘡の方へは栄養の付加を行い、栄養状態の改善を目指しています。

■感染症の予防

コロナ感染症の流行に伴い、厨房内ではより一層感染予防対策を実行しました。1月に陽性者のあったフロアーへは収束までの期間全てを使いせてのものを使い、その後もシュミレーション訓練時のレッドゾーンのフロアーへの食事提供は全て使い捨ても食器等を使用しています。

「厨房内に感染を持ち込まない」「感染を広げない」ことを目標に、手洗いの強化、換気、手の触れる箇所の消毒、職員間の接触を避ける、マスクの正しい管理や体調チェックを徹底して行いました。

併せて、厨房内の衛生管理や器具の消毒にも注意を払い、ノロウイルス等の感染症や食中毒の発生予防にも努めました。

感染症の発生により業務が継続できなくなるようなことがないように、備蓄の食材を3日分増やしました。現在は、7日分の備蓄を確保しています。

■ヒヤリハット件数

令和2年度のヒヤリハットは5件ありました。内訳は、配膳ミス3件、その他2件（配膳車コードの破損、納品物の品質管理）でした。今後もお互いに声を掛け合いながら、引き続き利用者様に安全安心な食事の提供ができるように努力していきます。

職員外部研修参加状況

○今年度は新型コロナウイルスの感染症の予防策と拡大防止等の要因から、外部研修への参加はほとんどありませんでした。

6月2日	施設間研修（医務）	1名参加
6月12日	施設間研修（医務）	1名参加
7月10日	施設間研修（事務）	1名参加
7月22日	施設間研修（事務）	1名参加
8月6日	特定給食施設栄養管理講習会	1名参加
8月7日	機能訓練指導員研修委員会（web）	1名参加
9月8日	特定給食施設栄養管理講習会	1名参加
10月6日	特定給食施設栄養管理講習会	1名参加
11月13日	今求められる高齢者の栄養管理	1名参加
1月25日	地域のコロナウイルス感染対策（web）	2名参加
2月9日	災害時の高齢者・障がい者等の支援と福祉専門職の役割	2名参加
2月25日	機能訓練指導員研修委員会(リモート)	1名参加

内　部　研　修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解するために、研修委員会を中心に介護職員の知識と技術の向上と全職員の資質の向上に取り組みました。

内部研修の実施については、三密を避けて行いました。リモートや書類により行うこともありました。

・　４月　１日　「感染症」　・　４月　３日　「感染症」
・　４月２５日　「法人理念・職業倫理」
・　５月　１日　「事故防止」　・　５月　５日　「人事考課」
・　５月　８日　「人事考課」　・　５月２０日　「虐待・拘束」
・　６月　５日　「看取り介護」　・　６月１７日　「褥瘡」
・　７月１０日　「守秘義務」　・　７月１５日　「認知症」
・　８月　７日　「レクリエーション」　・　８月１９日　「サービスマナー」
・　９月　４日　「口腔ケア」　・　９月１６日　「排泄」
・　９月２５日　「トロミ剤」
・　１０月　２日　「トロミ剤」「感染症」　・１０月　９日　「人事考課」
・　１０月２２日　「事故防止」
・　１１月　６日　「拘束・虐待」
・　１２月１６日　「看取り」　・１２月２５日　「感染症」「認知症」
・　１月２９日　「褥瘡」「守秘義務」
・　２月１７日　「介護課程」　・　２月２６日　「排泄」
・　３月１７日　「サービスマナー」　・　３月２６日　「レクリエーション」

令和２年度の内部研修は、新型コロナウイルス感染症の感染防止を考慮しながら行いました。正職員も非常勤職員もともに多くを学び合いました。学んだ知識と技術を仕事に活かせるように取り組み、質の高いサービス提供を目指しました。

新入職員には入職時のオリエンテーションを行い、エルダーメンター制度により指導担当者による指導と業務内で行うＯＪＴの強化により、介護技術の習得が出来て、新人職員の定着につながり、指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

苦　情　報　告

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、利用者様には多くのご不自由をおかけしてきました。面会や外出が中止となり、三密を避けるために、居室で過ごす時間も増えました。それでも、利用者の皆様は状況の理解を示され、協力してくださいました。

そのような中でも、利用者様やご家族様等から、様々な意見、苦情、要望等をいただきました。

それぞれのご意見を傾聴し、苦情の場合、背景となっている事柄を考察し、改善を図りました。

また、希望や要望を伺った時は、迅速に対応し、難しい場合はその理由を説明し、代替え案を提示するなどして、理解を得られるようにしました。

利用者・ご家族様等からの意見とそれに対する対応は、記録し特に苦情は「苦情報告書」にまとめました。その中で施設全体で考察すべき事例は、毎月開かれる「苦情対策会議」で取り上げて問題の周知を図るとともに、問題点を掘り下げ、介護の質の向上につなげられるように話合ました。

【会議で取り上げた主な苦情・要望・意見】

（１）利用者様より　○職員の態度や言葉遣いに対する苦情、不満・・・・・・５件
○職員の業務に対する苦情、不満・・・・・・・・・・・９件

○他利用者への苦情・不満・・・・・・・・・・・・・・・・２件
○環境等に対する不満・・・・・・・・・・・・・・・・・・３件
○要望　(理髪、ＢＳチャンネルの視聴)・・・・・・・・・４件
○評価　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１件

（２）ご家族様より　○質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２件
○要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１件

苦情や要望によって、利用者様の気持ちや考えを知ることができ、課題が浮かび上がります。
様々な苦情や意見を受け止めてその解決を図り、要望に応えられる方法を考えることで、提示された課題に取り組み、介護の質の向上に繋げることができました。

事 故 防 止

利用者様の事故や感染症に関するリスクマネジメントは、施設の介護における重要な位置を占めています。
令和２年度も年間を通して、事故防止と感染予防に取り組みました。
本年度のヒヤリハット事例は、合計 311 件でした。
その内訳は①転倒 90 件　②転落 34 件　③怪我（内出血、傷）33 件　④誤食２件　⑤誤嚥２件
⑥誤薬３件　⑦トラブル 11 件　⑧徘徊５件　⑨器物損害４件什　⑩盗難・紛失１件　⑪その他 126 件でした。
「その他」
利用者様がテーブルを倒した、トイレのタンクの蓋を外した等の行為や、薬のセットミス等、分類項目に当てはまらないものが含まれています。
また、行政に事故報告を提出した事例は、５件でした。転倒骨折で入院された方は１名で、現在は退院され以前の生活に戻られています。感染症の分野では、１名が角化型疥癬の診断を受け、４名の方が新型コロナウイルス感染症に罹患され、それぞれの保険者である市・区と福生市に事故報告書を提出しました。
利用者様の転倒・転落や怪我が発生し、発見された時には、日直（夜間は夜勤者）に報告し、ナース、介護職員、リハビリ、生活相談員等が多職種で検証を行うという流れを修正して事故発生・発見時にその場で原因を究明し、対応策を立ててすぐに実施することになりました。ヒヤリハット報告によって次の事故を防止するという本来の目的に沿う形になりつつあります。
事故防止会議は、施設顧問医師の指導により、毎週金曜日に開催しました。施設内で起こった事故やヒヤリハット事例を検証し、原因と問題点、対策を検討しました。
年間で合計 42 回開催しました。
また、毎月開催される事故防止委員会では、特に施設全体で考察すべき重大な事例について話し合い、その会議録によって職員全体に周知を図りました。

排　　泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと技術の習得に取り組みました。
昨年度からの乾清拭も定着しました。新型コロナウイルスの発症により、排泄介助も今まで以上に個人対応ができるようになりました。衛生面についても手指の消毒方法、予防具の使用方法、シャワーボトルを個人専用化、汚物の処理方法、ゴミの出し方等を見直すことができました。

委 員 会 報 告

「人と地域をつなぎ相手の想いに応えられる施設作り」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的として各委員会を開催し、検討事項や決定事項の周知徹底を図りました。ゴミの

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。エルダーメンター制度により、新入職職員の指導にあたり、ＯＪＴを強化しました。一般職員に対しては、毎月の全体会の時間と運営会議日の時間を利用し内部研修を実施しました。内部研修時には、三つを避けつつも、一人でも多くの職員が参加できるようにし、資料の配布等により周知徹底と共通の認識を持てるように、正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で内部研修に参加することが出来ました。

口腔衛生管理

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めましたが、事前にリスクを予測して予防する観点が不足していたと感じます。

拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「０」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「０」の状態を維持して行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。新しいこととしてシャワーボトルの個人かをしました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上するために活動しました。委員会メンバーで話し合い「標語」を作成し、実践しました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。利用者様の声を献立に反映しました。

忘年会活動報告書

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用や様の生活に中止になりました。

職員旅行活動報告書

新型コロナウイルス感染症の影響により、利用や様の生活に中止になりました。

ク ラ ブ 活 動

それぞれの利用者様一人ひとりの生活の充実と、残存機能を発揮する場としてのクラブ活動を行い生活の活性化を図ることを目的としました。作品等が出来上がった時の達成感は「笑顔」に現れました。

各活動は、生活リハビリの一環として、機能維持に役立ち「その方らしさ」につながり「自立の支援」「尊厳の保持」のための良い機会と有効な時間になりました。

新型コロナウイルスの予防の観点から「三密」を避け、実施方法を工夫して実施しました。

茶　道

活　動	3回	
活動報告	4月9日・7月14日・8月5日 講師の先生はいらっしゃいませんでしたが、利用者様と職員で行いました。	

華　道

活　動	8回	
活動報告	4月14日・5月7日・6月3日・7月7日・8月11日・9月23日・10月24日・ 3月25日 講師の先生はいらっしゃいませんでしたが、花を活けて楽しみました。 文化祭の前日にはzoomで講師の先生に指導をいただきました。	

工　作

活　動	21回	
活動報告	4月20日・30日・5月1日・16日・23日・6月8日・7月31日・8月2日・18日・ 9月7日・24日・10月18日・22日・11月9日・1月4日・7日・16日・ 2月27日・28日・3月3日・16日 他フロアーの利用者様同士が一緒にならないように、フロアー毎に感染予防をしながら行いました。作品が出来上ることは喜びでした。	

書　道

活　動	7回	
活動報告	4月27日・5月11日・5月27日・7月6日・8月3日・9月8日・10月20日・ それぞれのフロアーで三密を避けて行いました。 文化祭前には、利用者様も職員も作品作りに取り組みたくさんの作品が出来ました。	

園　芸

活　動	3回	
活動報告	5月5日・6月　6日・7月22日 季節の花ばな　を植え、土に触れたりと気分転換が図れました。ゴーヤもたくさん収穫出来ました。	

紙 芝 居

活　動	6回	
活動報告	6月14日・8月16日・9月13日・10月18日・12月23日・2月26日・ 各フロアーで、少人数で実施し、感染予防をしながらでしたが、喜んでいただけました。 紙芝居を読むだけでなく、ＤＶＤを使ったりと工夫もしました。	

手　芸

活　動	8回	
活動報告	8月25日・9月1日・10月4日・26日・12月13日・1月25日・2月10日・3月4日 布を使い、いろいろな作品を作りました。使用後の針の取り扱いに注意を払いました。	

ラ ジ オ 体 操

活　動	84 回	
活動報告	4 月/4 回・7 月/20 回・8 月/14 回・9 月/18 回・10 月/20 回・11 月/8 回・ 1 階は月曜日と木曜日、2 階は火曜日と金曜日、3 階は水曜日と土曜日の朝の時間に ラジオ体操を行い、体を動かす機会にしました。 緊急事態宣言等の時には、「まだできないの？」「もうやらないの？」等の声が多くあり、 楽しみにしてくださっている様子に、担当職員もうれしく思いました。	

手 作 り お や つ

活　動		
活動報告	4 月 13 日・5 月 25 日・6 月 22 日・7 月 27 日・8 月 31 日・10 月 19 日・11 月 16 日・ 12 月」28 日	
	施設の食事やおやつでは、登場しにくいものを召し上がる機会になればと思い、作るものを決めました。 白玉あんみつ・ドーナツ・フレンチトースト・素麺とゴーヤチャンプルー・ミルク餅・ フルーツサンド・バナナケーキ・お汁粉等 ゴーヤチャンプルーは緑のカーテンとして園芸クラブで収穫したゴーヤを使いました。	

カ ラ オ ケ

新型コロナウイルス感染症の予防策に一環で「歌う」ということが感染の拡大につながるということもあり、マイクを複数人で使いまわして歌うことを中止しました。1 階は月曜日と木曜日・2 階は火曜日と金曜日・3 階は水曜日と土曜日にカラオケの機械を使って、利用者様の懐かしい歌や聞きたい歌などのリクエストにより音楽を流しました。

音 楽 療 法

新型コロナウイルス感染症の影響で講師が来園できませんでした。講師に変わり職員が行うことも知識と技術がないために、活動を中止としました。

ス ポ ー ツ

新型コロナウイルス感染予防策の三密を避けるということから、集まっての活動を行いませんでした。
各フロアーでのレクリエーションの時間に体を動かし活動性の低下を防止しました。

防　　災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「台風等による風水害がある」「新型コロナウイルス感染症が発生した」等々を想定して、訓練を行ました。
今年度は11月の疥癬、1月の新型コロナウイルスの発症により、緊張感が高まりました。どのような状況直面しても職員間で意識統一を図り、事業継続を可能にしなければならないという使命感を持って進みました。
また、洪水時の避難確保計画を一部改訂して、福生市に届け出ました。

１．自衛消防訓練

令和2年度は、年度当初から新型コロナウイルス感染症に対する感染予防の観点から利用者様、職員合同での訓練や全フロアーで行う訓練を行うことが困難と考えて部署単位で訓練を行いました。

・訓練実施記録

２０２０	７月　２日	１３時２０分	地震発生
		消火訓練・通報訓練・避難訓練	
２０２０	７月１２日	１３時００分	厨房から出火
	～１４日	消火訓練	
２０２０	８月　２日	９時３０分	地震発生
		消火訓練・通報訓練・避難訓練	
２０２０	９月　２日	５時００分	水害発生
		消火訓練・通報訓練・避難訓練・炊き出し訓練	
２０２０	１０月１１日	１０時００分	風水害（台風）
		避難訓練	
２０２０	１０月２２日	３時００分	新型コロナウイルス感染症発生
		その他訓練（炊き出し訓練）	
２０２１	２月１７日	２３時００分	地震発生
		地震・受傷事故	

上記の通り今年度の自衛消防訓練は、７回行いました。火災・地震・水害・感染症等を想定して日勤帯や夜勤帯と訓練内容を工夫して、いざ！という時に備える準備をしました。

２．防災会議の記録

4 月15日・5 月20日・6月2日・6月17日・7月2日・7月15日・8月19日・9月16日・10月11日・10月21日・11月18日・12月16日・1月29日・2月17日・3月17日・3月31日

上記の通り16回会議を行いました。

使 用 物 品 等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡が来ます。事務所で物品を発注し、納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。物品を持ち出したときに、物品を持ち出した職員が持ち出した記録を行いますが、記入漏れが多く物品の残数が合わずに、管理が十分に出来ない状態が続いて、解決策として記入用紙を書きやすく分かりやすいように工夫しました。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。
1月に、新型コロナウイルスの感染防止の発生があり、委託業者の方にシーツ交換をお願いすることの出来ない期間は職員が行いました。リネン類の配送の業者さんが施設に入らずに済むように工夫し、玄関先で納品していただき、職員が片付けることも行い外部の方が施設内にウイルスを持ち込むことのリスクを最小限にするように取り組みました。

お む つ 等 管 理

リースの清拭布・紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち、使用しています。コスト意識は、排せつ委員の働きかけで、それぞれの職員の意識も高まっています。無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。新型コロナウイルスの発生により、排泄介助の方法もさらに個別性を重視して洗浄ボトルの個人専用使用を実施し、感染予防に努めました。

ボランティア受入状況

例年であればたくさんのボランティアさんに活動していただいていますが、今年度は感染予防策を実行することに重点を置いた結果、利用者様の地域交流の機会がした。激減しました。
ボランテイアさん等の活動方法の工夫により、新しい形での交流を試みました。

４月	・手作りマスク	
５月	・手作りマスク	
７月	・日色ともえとマリオネットコンサート	
９月	・手芸品	・ぬりえ
	・「メロディの和」CD	
１０月	・デバリーコンサート	・華道クラブ指導
	・ぬりえ　2回	
１１月	・チャリテーコンサート	・ぬりえ　5回
１２月	・クリスマスカード　8回	
１月	・くだもの絵合わせカード　4回	
２月	・やさい絵合わせカード　4回	・ひな祭り装飾品3回
	・踊りCD	
３月	・ぬりえ　2回	・オンライン音楽レク
	・シャドークイズ　3回	

４０回の活動となりました。手作り品を届けていただくことがほとんどでした。クリスマスカードは施設の材料を、ボランティアさんのご自宅に持ち帰り、カードを製作して届けてくださいました。
送っていただいたCDは繰り返してみることが出来て、楽しみました。文化祭の華道クラブの作品としての生け花は、講師の先生と相談し、ＺＯＯＭを使って指導していただきました。

実習生･研修生受入記録

新型コロナウイルスの感染予防の観点から実習生の受け入れを行いませんでした。

地域交流参加等の状況

新型コロナウイルスの感染予防のために、地域の行事等が全て中止になり参加がありませんでした。

備品購入及び設備改善

新型コロナウイルス感染症の感染予防策と蔓延防止策の徹底のために、数々の備品の購入と設備の改善が必要でした。大まかに以下のような事柄があります。
また、感染予防対策と蔓延防止対策を強化するにあたり、マスク、手袋、ガウン、ディスポ帽子、フェィスシールド、足カバー、消毒用アルコール等の感染予防グッズが必要でしたが、年度当初から入手困難な状況がありました。その後、購入できるようになったものの価格が高騰してしまうというように状況の困難さが続きました。
物品が不足し、入手できなかったらどうしようという心配の中、日夜戦っていたという思いがあります。

・利用者様と職員との接触をなるたけ少なく出来る等にという目的で購入した物
　自動体位交換機能とセンサー機能付きエアーマット
　体位交換用クッション
　自動ブレーキ付き車椅子
　トイレ用フレーム

・利用者様と職員との接触をなるたけ少なく出来る等にという目的で購入した物

自動体位交換機能とセンサー機能付きエアーマット

体位交換用クッション

自動ブレーキ付き車椅子

トイレ用フレーム

・三密を避けてソーシャルディスタンスを確保するための目的で購入した物

利用者様用のソファー

移動テーブルと固定テーブル

間仕切り用の衝立

アクリル製の卓上間仕切り

・感染を防止するための環境整備の目的で購入した物

Wi-Fi 工事

玄関用の除菌スリッパラック

各フロアーに設置する利用者様用体重計

エアコン 3 台

・設備改善

スロープバスの入れ替え（備品含む）

温冷配膳車の修理

玄関の自動ドアセンサー修理

ダムウェーター交換

電話機ユニットバッテリー交換

食器消毒保管庫の修理

年間行事の実施状況

感染予防中であったため開催方法を工夫して、三大行事はじめ各行事をそれぞれのフロアーで実施しました。例年よりも規模が小さくなりましたが、楽しんでいただけました。

・4 月 26 日	観桜会	お花見弁当の昼食と駄菓子のおやつ
・8 月 2 日	納涼祭	模擬店でお祭り気分と盆踊り
・9 月 13 日	敬老会	午前に福生市長来園して下さりお祝い、午後に式典と喫茶
・10 月 25 日	文化祭	作品展示と模擬店
・12 月 20 日	クリスマス会	手作りのクリスマスカードとクリスマスケーキ
・12 月 28 日	餅つき	午前に餅つき、午後にお汁粉のおやつ
・1 月 1 日	元旦	新年式典
・2 月 2 日	節分祭	豆まきで無病息災
・3 月 3 日	ひな祭り	おひなさまと共に喫茶

令和２年度　短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、
利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。

・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。

・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1)　月別利用者延人数調査

４月	０名	・	５月	０名	・	６月	０名
７月	４３名	・	８月	３７名	・	９月	８名
１０月	０名	・	１１月	２６名	・	１２月	３１名
１月	３名	・	２月	７名	・	３月	７名

1 年間に、延べ人数で合計 162 名の方に利用していただき稼働率は 22，1%でした。
制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えられるようにと考えて
緊急利用の利用者様の受け入れを積極的に行いたいと考えて例年は取り組んできましたが
今年度は、年度当初から新型コロナウイルスの感染防止対策の一環として、短期入所の
ご利用を制限させていただいていました。
そのうえ、令和 3 年 1 月 5 日に新型コロナウイルスの陽性者が出て、さらにお受けするのは
困難な状況になりました。
今年度の利用は、緊急性の高い方のご利用がほとんどでした。

(2)　協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理と
感染予防に力を入れました。

2. 重点目標

職員一同力を合わせてサービスの質の向上と感染予防に取り組みました。

(1)　緊急な入れを行いました。

(2)　重度要介護者の受け入れも行いました。

(3)　２床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受け
にくい場面もありました。

(4)　内部研修と OJT を強化しました。

(5)　感染予防の強化により、部署間のチームワークが強化できました。

生活の場として安全で安心してご利用できるよう環境を整えて、その方らしい生活を支援
しました。

2020 年度

通所介護事業

（併設型通所介護事業）

（総合事業通所介護事業）

（高齢者生きがい活動支援デイサービス）

事 業 報 告 書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告

今年度の高齢者在宅サービスセンター加美は、新型コロナウィルス感染症の流行により、事業活動に多大な影響を受けた一年となった。

2020 年 4 月 7 日に国からの緊急事態宣言が発出された事により、４月の利用者数が前年同月比で 22.6%減となった。緊急事態宣言が解除された 5 月 25 日以降においても利用者数は戻らず、前年比 1 ヶ月平均 12.3%減（4 月から 12 月まで）となった。2021 年 1 月 7 日には再び緊急事態宣言が発出され、同月 11 日には併設施設にて新型コロナウィルスの感染者が発生した事により、デイサービス事業が休止状態に陥る事態となり、年間累計で前年比 29%減という大変厳しい数字となった。

一方、今年度より生活相談員が交代となり、新しい体制での事業活動となるが、コロナ禍において、趣味の会や各種イベントへの制限がかかる中、代わりに多様なレクリエーションを日替わりで行い、毎月の誕生日会や 3 日間に渡るクリスマス会等を開催し、サービス内容の充実を図った。
同時に感染症対策についても、利用者、職員共に手洗い・マスクの着用・換気・体温測定等を徹底する事で安心安全な事業活動に努めてきた。

また事業休止中においても、利用者への電話対応や、バースデーカード・絵葉書等の配布、事業所内の大掃除・片付け等を行い、再開への準備活動につなげてきた。

通所介護・総合事業実績：57,897,430 円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおりの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

・職員配置（3 月 31 日現在）

併設型通所介護　総合事業

	常勤		非常勤	
職種	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1 人	他事業を兼務		
生活相談員	1 人		1 人	介護職を兼務
介護職員	0 人		14 人	1 人は生活相談員兼務
看護職員	1 人	他事業を兼務	2 人	
機能訓練指導員			必要数	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手				全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1 人	他事業を兼務	1 人	

人件費実績　　：60,342,415 円

福利厚生費実績：372,075 円

併設型通所介護事業　月別延べ利用者数　　単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
前年度	690	691	676	728	734	680	696	683	680	562	588	573	7,981
今年度	534	537	633	643	606	604	632	647	647	186	0	311	5,980
要介護 1	247	238	291	281	262	269	245	249	247	86	0	152	2,567
要介護 2	120	121	135	153	157	169	204	176	171	48	0	85	1,539
要介護 3	121	128	155	159	141	137	149	137	154	39	0	64	1,384
要介護 4	39	41	44	44	41	28	30	26	16	2	0	10	321
要介護 5	7	9	8	6	5	1	4	12	15	4	0	0	71
今年度-前年度	△156	△154	△43	△85	△128	△76	△64	△36	△33	△376	△588	△262	△2,001

併設型通所介護　一日平均利用者数　　単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	Total
平均利用者数 ①÷②	20.54	20.65	24.35	23.81	23.31	23.23	23.41	25.88	24.88	31.0	0	22.21	23.45
延べ利用者数 ①	534	537	633	643	606	604	632	647	647	186	0	311	5,980
開所日数 ②	26	26	26	27	26	26	27	25	26	6	0	14	255

日常生活支援総合事業　月別延べ利用者数　　単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	91	86	83	105	101	85	87	90	84	74	71	71	1,028
今年度	57	55	57	61	59	59	52	47	44	7	0	23	521
要支援1	17	12	8	10	8	8	9	8	9	2	0	5	96
要支援2	40	43	49	51	51	51	43	39	35	5	0	18	425
今年度-前年度	△34	△31	△26	△44	△42	△26	△35	△43	△40	△67	△71	△48	△507

日常生活支援総合事業　一日平均利用者数　　単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ①÷②	2.19	2.12	2.19	2.25	2.26	2.26	1.92	1.88	1.69	1.17	0	1.64	2.04
延べ利用者数 ①	57	55	57	61	59	59	52	47	44	7	0	23	521
開所日数 ②	26	26	26	27	26	26	27	25	26	6	0	14	255

給食費実績　：3,265,178円　車輌費実績　：1,509,490円　教養娯楽費実績　：189,096円
介護用品費実績　：　64,984円　医薬品費実績：　840,845円　保健衛生費実績　：　74,333円
被服費実績　：　0円　日用品費実績：　119,410円　消耗器具備品費実績：153,149円
水道光熱費等実績：3,247,338円

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第２サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

① 物品購入実績　ファンコイル入替・ダクト交換・機械浴槽入替・液晶テレビ入替・体温測定器

10,559,332円

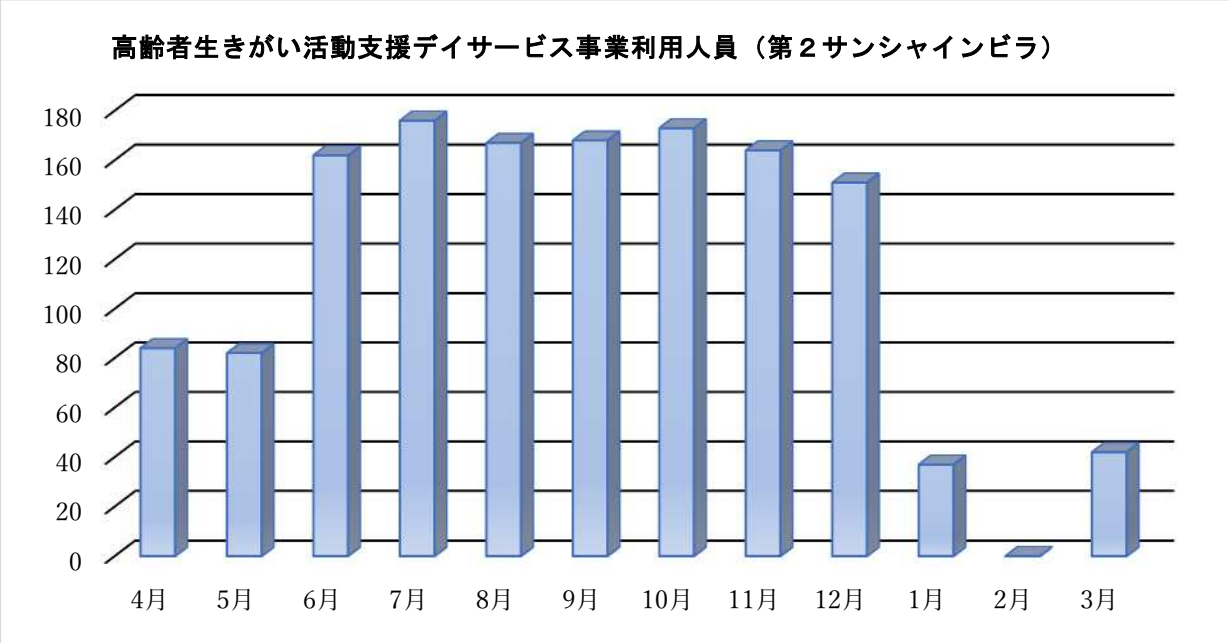
② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

高齢者生きがい活動支援デイサービス　事業報告

福生市からの委託事業で、おおむね６５歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。今年度は、コロナ禍により、利用を控える利用者が数名いた。また１月 11 日より併設施設にて感染症者発生のため事業活動を 3 月 15 日まで休止する事態となった。休止期間中は利用者に対して定期的に電話にて安否確認活動を行った。

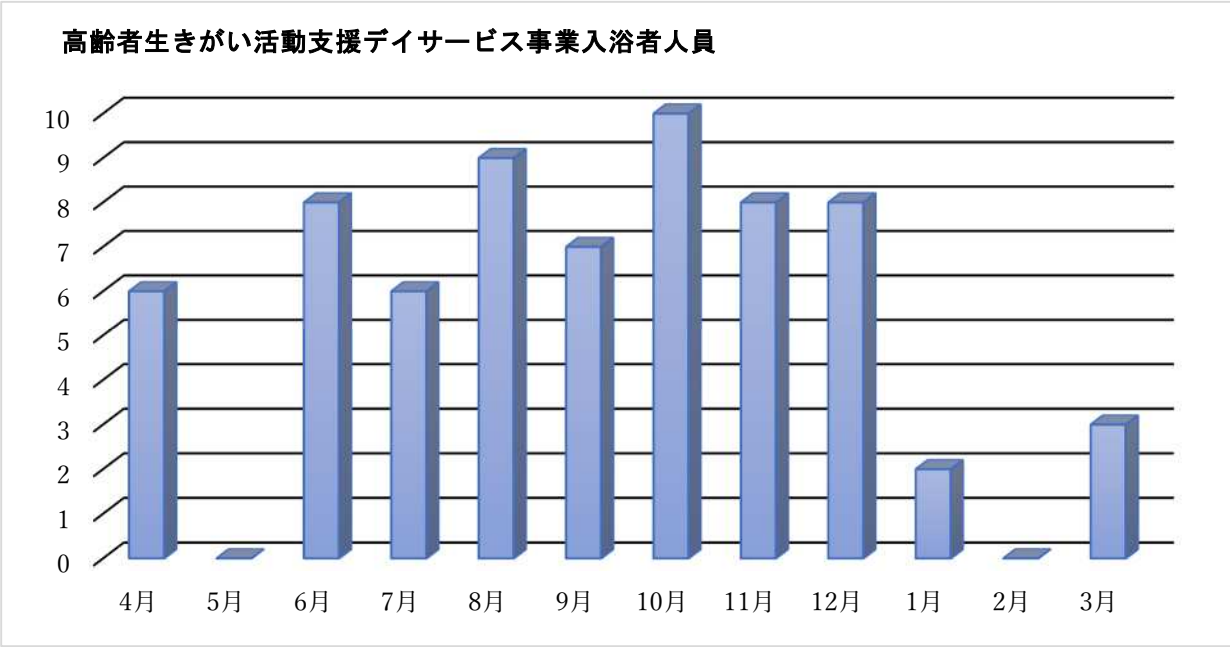
高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第 2 サンシャインビラ)　　単位：人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
利用人員	84	82	162	176	167	168	173	164	151	37	0	42	1,414



高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス（一般浴）延べ利用人員実績簿　　単位：人

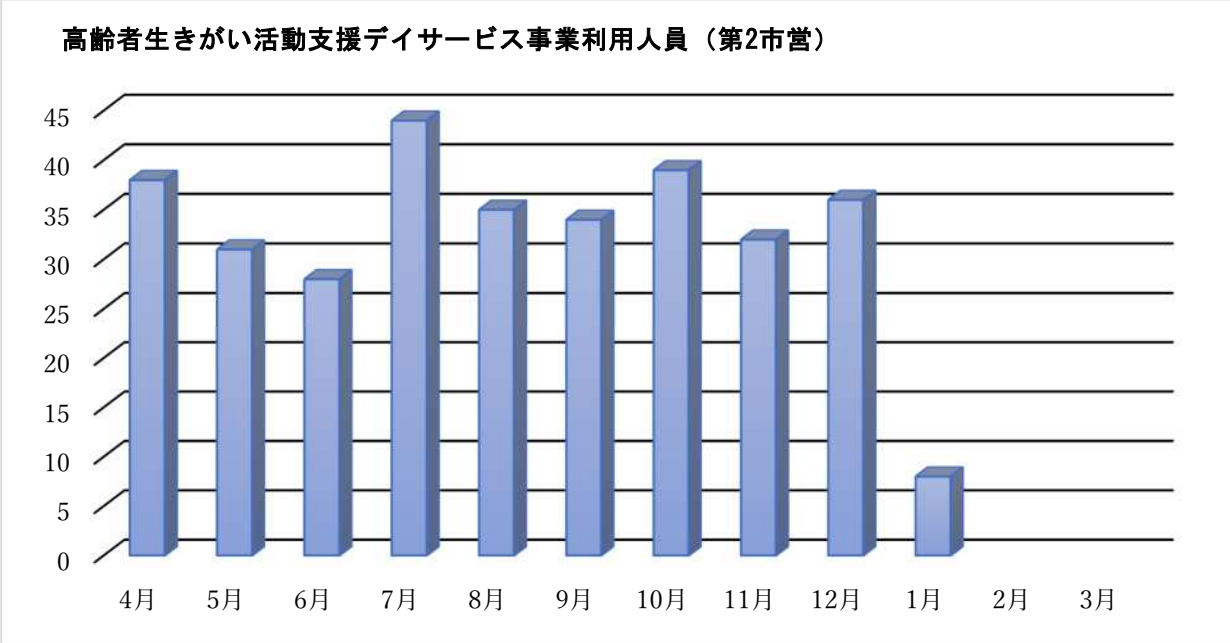
月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
利用人員	6	0	8	6	9	7	10	8	8	2	0	3	67



高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第 2 市営)

単位：人

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
利用人員	38	31	28	44	35	34	39	32	36	8	0	0	325



委託料実績　　：14,500,000 円

利用者負担金収入：　634,290 円

【福生市生きがいデイサービス（第２サンシャインビラ・第２市営）】

第２市営ではご近所の高齢者も多数参加し、活気ある生きがいデイサービス活動を行っている。今年度は、新型コロナウィルス感染症の影響で、施設内での活動が中心となったが、ドライブやクリスマス会等も実施してきたが、１月１１日から３月１５日まで休止する事となった。

令和２年　４月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042－553－3736

	月	火	水	木	金	土
			１日 展望風呂 （午前・午後） 音楽リハビリ きゃっちボール	２日 輪投げビンゴ ミニゲートボール 手芸・陶芸クラブ	３日 展望風呂 （午前・午後） スカットボール 後ろ向き玉入れ	４日 展望風呂 （午前・午後） ロボお手玉いれ カラオケ
5日	６日 展望風呂 （午前・午後） 家内安全ゲーム	７日 スカットボール おやつバイキング	８日 展望風呂 （午前・午後） ヤリなげゲーム みんなで散おう 陶芸クラブ	９日 うちわ風船バレー ヤクルト山積み ひまわり美容室	１０日 展望風呂 （午前・午後） CDカーリング お手玉積み上げ 紙芝居クラブ	１１日 展望風呂 （午前・午後） ヤクルト山積み カラオケ
12日	１３日 展望風呂 （午前・午後） お手玉積み上げ 輪投げビンゴ	１４日 ふっとボーリング ゆらゆら傘 陶芸クラブ	１５日 展望風呂 （午前・午後） 音楽リハビリ イス玉乗せ	１６日 後ろ向き玉入れ 大砲ボーリング 手芸・陶芸クラブ	１７日 展望風呂 （午前・午後） ロボお手玉いれ ミニゲートボール	１８日 展望風呂 （午前・午後） きゃっちボール カラオケ
19日	２０日 展望風呂 （午前・午後） CDカーリング うちわ風船バレー	２１日 ロボお手玉いれ 喫茶の日 理髪の日	２２日 展望風呂 （午前・午後） 後ろ向き玉入れ 家内安全ゲーム 陶芸クラブ	２３日 スカット玉入れ お手玉積み上げ 誕生食	２４日 展望風呂 （午前・午後） シニアヨガ 紙芝居クラブ 移動美容室 誕生食	２５日 展望風呂 （午前・午後） ふっとボーリング カラオケ 誕生食
26日	２７日 展望風呂 （午前・午後） 大砲ボーリング イス玉乗せ	２８日 ヤクルト山積み うちわ風船バレー 陶芸クラブ	２９日 ロボお手玉入れ CDカーリング	３０日 お手玉積み上げ ゆらゆら傘 手芸クラブ		

卯月４月・・のどかな春のよい季節になりました。
新しランドセルを背負った一年生の姿がほほえましい今日この頃です。

〈ご利用者様・ご家族様へ〉

☆ 今月の外食会も、中止とさせて頂きます。

《※外食会ですが参加希望の少ない場合は中止とさせて頂くことがありますので予めご了承下さい。》

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食お刺身祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

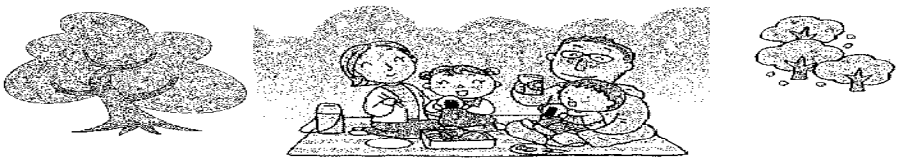
☆ クラブ活動の日程は、先生の都合により変更される事がありますので、御了承ください。

☆ 風邪・インフルエンザ等の感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆4月の予定☆

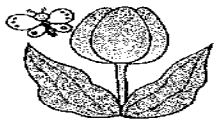
２日　ドライブ（あきる台公園）
９日　のんびりしようデイ
16日　ショッピング（ご希望にて）
23日　来園日（カラオケなど）
30日　ドライブ（ご希望にて）



春らんまん、一年中でいちばん美しく楽しい季節がやってまいりました。しかし、まだまだ風邪や感染症には気を付けて手洗いうがいを行っていきましょう。

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　　森田まで



ふれあい　令和２年　５月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
					１日	２日
					展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉入れ ミニゲートボール	展望風呂（午前・午後） CDカーリング カラオケ
３日	４日	５日	６日	７日	８日	９日
	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 家内安全ゲーム	輪投げビンゴ イス玉乗せ	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉入れ 大砲ボーリング	ロボお手玉いれ ミニゲートボール	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ きゃっちボール	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ
１０日	１１日	１２日	１３日	１４日	１５日	１６日
	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ うちわ風船バレー	後ろ向き玉入れ 家内安全ゲーム	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ お手玉積み上げ	輪投げビンゴ ぶっとボーリング	展望風呂（午前・午後） CDカーリング うちわ風船バレー	展望風呂（午前・午後） イス玉乗せ カラオケ
１７日	１８日	１９日	２０日	２１日	２２日	２３日
	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み スカット玉入れ	ロボお手玉入れ きゃっちボール	展望風呂（午前・午後） ぶっとボーリング ゆらゆら傘	大砲ボーリング CDカーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉入れ カラオケ
２４日	２５日	２６日	２７日	２８日	２９日	３０日
	展望風呂（午前・午後） 大砲ボーリング ゆらゆら傘 誕生食	ヤクルト山積み うちわ風船バレー 誕生食	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ CDカーリング 誕生食	お手玉積み上げ 家内安全ゲーム	展望風呂（午前・午後） ふっとボーリング スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ カラオケ
３１日						

皐月５月…
五月の晴れの空に鯉のぼりがひるがえる季節となりました。

<ご利用者様・ご家族様へ>

☆ 新型コロナの影響により、今月もクラブ活動や理美容また外食会も中止とさせて頂きます。

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食お刺身祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 今月のクラブ活動は、コロナの影響により活動予定が未定です。活動再開時はお知らせ致します。

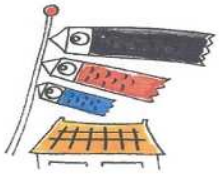
☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。

☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆5月の予定☆

7日	来	園	日
14日	来	園	日
21日	来	園	日
28日	来	園	日



新型コロナの影響により、活動は全て来園日になります。
カラオケやゲームを楽しんで頂きながら時間によって
ドライブ等も順次企画していきます。お楽しみに!!!

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　　森田まで

ふれあい　令和2年　6月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ	ミニゲートボール 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ 後ろ向き玉入れ	お手玉積み上げ きゃっちボール	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 家内安全ゲーム	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ カラオケ
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉入れ 家内安全ゲーム	スカット玉入れ お手玉積み上げ	展望風呂（午前・午後） CDカーリング きゃっちボール	ロボお手玉いれ イス玉乗せ	展望風呂（午前・午後） ふっとボーリング ゆらゆら傘	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ カラオケ
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ うちわ風船バレー	輪投げビンゴ 家内安全ゲーム	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ お手玉積み上げ	後ろ向き玉入れ ふっとボーリング	展望風呂（午前・午後） CDカーリング きゃっちボール	展望風呂（午前・午後） ミニゲートボール カラオケ
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂（午前・午後） ふっとボーリング ゆらゆら傘	イス玉乗せ CDカーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ	ヤクルト山積み うちわ風船バレー 誕生食	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ お手玉積み上げ 誕生食	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉入れ カラオケ 誕生食
28日	29日	30日				
	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み ミニゲートボール	きゃっちボール うちわ風船バレー				

水無月6月…
紫陽花の色が日ごとに深まり楽しませてくれます。

〈ご利用者様・ご家族様へ〉

☆ 新型コロナの影響により、今月もクラブ活動や理美容また外食会も見合わせて頂いております。

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食お刺身祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 今月のクラブ活動は、コロナの影響により活動予定が未定です。活動再開時はお知らせ致します。

☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。

☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆6月の予定☆

4日	来	園	日
11日	来	園	日
18日	来	園	日
25日	来	園	日

新型コロナの影響により、活動予定が来園日になっています。
今後の様子をみて、変更する場合もありますので、
宜しくお願い致します。
※来所時にはマスクの着用をお願い致します。

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　　森田まで

ふれあい　令和２年　７月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
			１日 展望風呂 （午前・午後） イス玉乗せ 輪投げビンゴ	２日 ヤクルト山積み きゃっちボール	３日 展望風呂 （午前・午後） 後ろ向き玉入れ ミニゲートボール	４日 展望風呂 （午前・午後） CDカーリング カラオケ
5日	６日 展望風呂 （午前・午後） ヤクルト山積み 家内安全ゲーム	７日 輪投げビンゴ イス玉乗せ	８日 展望風呂 （午前・午後） 後ろ向き玉入れ 大砲ボーリング	９日 ロボお手玉いれ ミニゲートボール ひまわり美容室	１０日 展望風呂 （午前・午後） お手玉積み上げ きゃっちボール	１１日 展望風呂 （午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ
12日	１３日 展望風呂 （午前・午後） ロボお手玉いれ うちわ風船バレー	１４日 後ろ向き玉入れ 家内安全ゲーム	１５日 展望風呂 （午前・午後） スカット玉入れ お手玉積み上げ	１６日 輪投げビンゴ ふっとボーリング	１７日 展望風呂 （午前・午後） CDカーリング うちわ風船バレー	１８日 展望風呂 （午前・午後） イス玉乗せ カラオケ
19日	２０日 展望風呂 （午前・午後） ヤクルト山積み スカット玉入れ	２１日 ロボお手玉入れ きゃっちボール 理髪の日	２２日 展望風呂 （午前・午後） ふっとボーリング ゆらゆら傘	２３日 大砲ボーリング CDカーリング	２４日 展望風呂 （午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ 移動美容室	２５日 展望風呂 （午前・午後） 後ろ向き玉入れ カラオケ
26日	２７日 展望風呂 （午前・午後） 大砲ボーリング ゆらゆら傘 誕生食	２８日 ヤクルト山積み うちわ風船バレー 誕生食	２９日 展望風呂 （午前・午後） ロボお手玉入れ CDカーリング 誕生食	３０日 お手玉積み上げ 家内安全ゲーム	３１日 展望風呂 （午前・午後） ふっとボーリング スカット玉入れ	

文月７月…
いよいよ盛夏の季節になりました。
こまめに水分補給をして、暑い夏を乗り越えて行きましょう！！

〈ご利用者様・ご家族様へ〉

☆ 今月のクラブ活動等、コロナの影響により活動予定が未定です。活動再開時はお知らせ致します。

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。

☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆7月の予定☆

2日　来園日
9日　AM来園日・PMドライブ(ご希望にて)
16日　のんびりしようデイ
23日　ドライブ(ご希望にて)
30日　のんびりしようデイ

まだまだ新型コロナウイルスが心配ですが、徐々に活動を再開しております。楽しみにして下さい！！
こまめに水分補給をして、暑い夏を乗り越えて行きましょう。
※来所時にはマスクの着用をお願い致します。

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい　令和2年　8月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
						1日 展望風呂 (午前・午後) 後ろ向き玉入れ カラオケ
2日	3日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ イス玉乗せ	4日 後ろ向き玉入れ 大砲ボーリング	5日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉いれ ミニゲートボール	6日 お手玉積み上げ きゃっちボール	7日 展望風呂 (午前・午後) ゆらゆら傘 家内安全ゲーム	8日 展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ カラオケ
9日	10日 展望風呂 (午前・午後) 後ろ向き玉入れ 家内安全ゲーム	11日 スカット玉入れ お手玉積み上げ	12日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ふっとボーリング	13日 CDカーリング うちわ風船バレー ひまわり美容室	14日 展望風呂 (午前・午後) イス玉乗せ 大砲ボーリング	15日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉いれ カラオケ
16日	17日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ きゃっちボール	18日 ふっとボーリング ゆらゆら傘 理髪の日	19日 展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング CDカーリング	20日 輪投げビンゴ イス玉乗せ	21日 展望風呂 (午前・午後) 後ろ向き玉入れ スカット玉入れ	22日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ
23日	24日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み うちわ風船バレー	25日 ロボお手玉入れ CDカーリング	26日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 家内安全ゲーム	27日 ふっとボーリング スカット玉入れ 誕生食	28日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ヤクルト山積み 移動美容室 誕生食	29日 展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング カラオケ 誕生食
30日	31日 展望風呂 (午前・午後) CDカーリング スカット玉入れ					

葉月8月…
暑さひとしお厳しい毎日が続いておりますが、皆様お変わりございませんか？
こまめな水分補給と栄養を摂って、暑い夏を乗り越えて行きましょう！！

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。
☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆8月の予定☆

6日　来園日
13日　のんびりしようデイ
20日　ドライブ(ご希望にて)
27日　来園日

新型コロナウイルスの感染がまた増えてきました！！
様子を見ながら活動を再開していきますので、
ご協力をお願い致します。

さあ、夏本番です！熱中症にも気を付けて
たくさん食べて・水分補給も行って乗り切りましょう!!

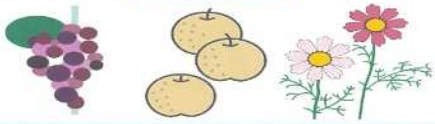
※来所時にはマスクの着用をお願い致します。
参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい　令和２年　９月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042−553−3736

	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
			展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）	展望風呂（午前・午後）
		ゆらゆら傘	スカット玉入れ	田植えゲーム	イス玉乗せ	輪投げビンゴ
		輪投げビンゴ	ペットボトルおこし	カラオケ	大砲ボーリング	魚釣りゲーム
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
	展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）	展望風呂（午前・午後）
	後ろ向き玉入れ	ロボお手玉いれ	お手玉積み上げ	ゆらゆら傘	スカット玉入れ	大砲ボーリング
	大砲ボーリング	紙皿グラグラゲーム	CDカーリング	輪投げビンゴ	ペットボトルおこし	カラオケ
				ひまわり美容室		
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）	展望風呂（午前・午後）
	スカット玉入れ	輪投げビンゴ	後ろ向き玉乗せ	イス玉乗せ	ロボお手玉いれ	田植えゲーム
	お手玉積み上げ	魚釣りゲーム	うちわ風船バレー	大砲ボーリング	蹴り出しゲーム	カラオケ
		理髪の日				
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
	展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）	展望風呂（午前・午後）
	ふっとボーリング	大砲ボーリング	輪投げビンゴ	後ろ向き玉乗せ	ヤクルト山積み	ロボお手玉入れ
	ゆらゆら傘	CDカーリング	イス玉乗せ	スカット玉入れ	魚釣りゲーム	カラオケ
					移動美容室	
27日	28日	29日	30日			
	展望風呂（午前・午後）		展望風呂（午前・午後）			
	ロボお手玉入れ	お手玉積み上げ	ペットボトルおこし			
	CDカーリング	数えてペグ挿し	スカット玉入れ			
	誕生食	誕生食	誕生食			



長月９月…
９月に入りこの暑さは珍しいようですが、皆様お障りございませんか？
食欲の秋です。水分補給と栄養を摂りましょう！！

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。
☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆9月の予定☆

3日　来園日
10日　のんびりしようデイ
17日　来園日
24日　ドライブ(ご希望にて)

まだまだ新型コロナウイルス感染の不安が続きます！！
感染防止の為、様子を見ながらの活動再開にします。
ご協力をお願い致します。

さわやかな季節となりました。皆様はどんな秋を迎えていますか？
食欲の秋？読書の秋？スポーツの秋？

※来所時にはマスクの着用をお願い致します。
参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042−553−3736
担当　森田まで

ふれあい　令和2年　10月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
				1日 ゆらゆら傘 輪投げビンゴ	2日 展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ ペットボトルおこし	3日 展望風呂（午前・午後） 田植えゲーム カラオケ
4日	5日 展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ お手玉積み上げ	6日 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	7日 展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ うちわ風船バレー	8日 イス玉乗せ 大砲ボーリング ひまわり美容室	9日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ 蹴り出しゲーム	10日 展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ
11日	12日 展望風呂（午前・午後） ふっとボーリング ゆらゆら傘	13日 大砲ボーリング CDカーリング	14日 展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ	15日 後ろ向き玉乗せ スカット玉入れ	16日 展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	17日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ カラオケ
18日	19日 展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ スカット玉入れ	20日 ヤクルト山積み 魚釣りゲーム 理髪の日	21日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 紙皿グラグラゲーム	22日 輪投げビンゴ CDカーリング	23日 展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ 数えてペグ挿し 移動美容室	24日 展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
25日	26日 展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム	27日 お手玉積み上げ 蹴り出しゲーム	28日 展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし スカット玉入れ	29日 ロボお手玉入れ 数えてペグ挿し 誕生食	30日 展望風呂（午前・午後） フットボーリング 紙皿グラグラゲーム 誕生食	31日 展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム 誕生食

神無月10月…
虫の音に秋の深まりを覚え、何となく寂しさを感じるこの頃です。
インフルエンザの時期にもなってきました。引き続き感染予防を行っていきましょう!!

☆ 毎日、入浴（機械浴）・機能訓練（リハビリ）は実施しております。
☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
☆ 新型コロナ感染症が流行っていますので所内ではうがい・手洗いを励行致しております。
☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆10月の予定☆

1日　来園日
8日　のんびりしようデイ
15日　来園日
22日　ドライブ（ご希望にて）
29日　のんびりしようデイ

インフルエンザの時期にもなってきました。
新型コロナウイルスと共に感染防止を行っていきましょう。
ご協力をお願い致します。

うららかな秋晴れが続いておりますが、
皆様お変わりございませんか？

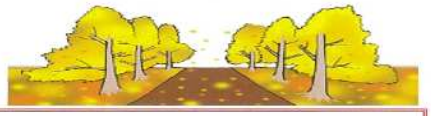
※来所時にはマスクの着用をお願い致します。
参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい　令和2年　11月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 輪投げビンゴ	スカット玉入れ ペットボトルおこし 焼き芋大会	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ 魚釣りゲーム	イス玉乗せ 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉いれ 蹴り出しゲーム	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ カラオケ
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし 魚釣りゲーム	後ろ向き玉乗せ 紙皿ｸﾞﾗｸﾞﾗｹﾞｰﾑ	展望風呂（午前・午後） イス玉乗せ 大砲ボーリング	スカット玉入れ 蹴り出しゲーム ひまわり美容室	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 CDカーリング	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ カラオケ
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂（午前・午後） 大砲ボーリング CDカーリング	輪投げビンゴ イス玉乗せ 理髪の日	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ スカット玉入れ	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし 数えてペグ挿し	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ スカット玉入れ 誕生食	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム 誕生食	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 紙皿ｸﾞﾗｸﾞﾗｹﾞｰﾑ 誕生食	輪投げビンゴ CDカーリング	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ 椅子玉乗せ 移動美容室	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
29日	30日					
	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム					



霜月11月…
朝の空も一段と冷たくなり、陽だまりが恋しい季節となりました。

3密（密閉・密集・密接）を避ける行動とマスク着用や手指消毒・手洗いの励行、日常生活でのソーシャルディスタンス確保などの対策でインフルエンザやコロナウイルスの流行を防止しよう!!

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
☆ 新型コロナやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。
☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆11月の予定☆

5日　来園日
12日　のんびりしようデイ
19日　来園日
26日　ドライブ(ご希望にて)

3密（密閉・密集・密接）を避ける行動とマスク着用や手指消毒・手洗いの励行、日常でのソーシャルディスタンス確保などの対策でインフルエンザやコロナウイルスの流行を防止しよう!!

落葉が舞う季節となり、風が身に染みるようになりました。
秋本番・・・どんな秋を楽しみますか？

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい 令和2年 12月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ 紙皿グラグラゲーム	イス玉乗せ 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ 蹴り出しゲーム	ゆらゆら傘 CDカーリング	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし 魚釣りゲーム	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ カラオケ
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ イス玉乗せ	お手玉積み上げ スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	ペットボトルおこし 数えてペグ挿し ひまわり美容室	展望風呂（午前・午後） 大砲ボーリング CDカーリング	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ カラオケ
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	ロボお手玉入れ 紙皿グラグラゲーム 理髪の日	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ CDカーリング	お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ [illegible]	ヤクルト山積み [illegible]	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ [illegible]	輪投げビンゴ スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ イス玉乗せ 移動美容室	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
27日	28日	29日	30日	31日		
	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ CDボーリング	輪投げビンゴ 田植えゲーム	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ ペットボトルおこし	ロボお手玉入れ 魚釣りゲーム		

師走
ジングルベルのメロディーが流れてくる今日この頃。
日頃の感染予防を継続しながら、水分補給や栄養たっぷりの食事を摂って
新しい年を元気に迎えましょう!!

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
☆ 新型コロナやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。
☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。
☆ 年明けは4日（月）から開所します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆12月の予定☆

3日　来園日
10日　のんびりしようデイ
17日　ドライブ(ご希望にて)
24日　来園日
31日　大晦日・お休み

日頃の感染予防を継続しながら、水分補給や栄養たっぷりの食事を摂って、新しい年を元気に迎えましょう!!

ポインセチアの赤い色に何となく心が浮き立ってくるようです。

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎ 042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい　令和3年　1月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042−553−3736

	月	火	水	木	金	土
		迎春			1日 元旦	2日
3日	4日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 紙皿グラグラゲーム	5日 輪投げビンゴ CDカーリング	6日 展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	7日 スカット玉入れ 数えてペグ挿し	8日 展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	9日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ カラオケ
10日	11日 展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ スカット玉入れ	12日 お手玉積み上げ イス玉乗せ	13日 展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ ペットボトルおこし	14日 ゆらゆら傘 魚釣りゲーム ひまわり美容室	15日 展望風呂（午前・午後） 田植えゲーム 大砲ボーリング	16日 展望風呂（午前・午後） CDボーリング カラオケ
17日	18日 展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム	19日 ゆらゆら傘 魚釣りゲーム 理髪の日	20日 展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	21日 輪投げビンゴ 蹴り出しゲーム	22日 展望風呂（午前・午後） CDカーリング イス玉乗せ	23日 展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
24日	25日 展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ イス玉乗せ	26日 ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	27日 展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ 数えてペグ挿し	28日 後ろ向き玉入れ CDボーリング 誕生食	29日 展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし 輪投げビンゴ 移動美容室 誕生食	30日 展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ カラオケ 誕生食
31日	謹賀新年　本年も宜しくお願い致します。					

今年も感染予防を継続しながら、楽しく元気に過ごしましょう!!　丑年
厳しい寒さが続きますがお体をご自愛くださいませ。

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 新型コロナやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。

☆ 来所時にはマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆1月の予定☆

7日　来園日
14日　のんびりしようデイ
21日　来園日
28日　ドライブ(ご希望にて)

新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します

今年も感染予防を継続しながら、楽しく元気に活動を行っていきましょう。
また、厳しい寒さが続きますのでお体をご自愛下さいませ。

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042−553−3736
担当　森田まで

丑年

ふれあい　令和3年　2月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ CDカーリング	お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ 数えてペグ挿し	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 紙皿グラグラゲーム	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ イス玉乗せ	後ろ向き玉乗せ ペットボトルおこし	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 魚釣りゲーム	田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） CDカーリング カラオケ
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 魚釣りゲーム	ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ 蹴り出しゲーム	CDボーリング イス玉乗せ	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ カラオケ
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	スカット玉入れ 数えてペグ挿し	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ CDボーリング	ペットボトルおこし 輪投げビンゴ 誕生食	展望風呂（午前・午後） 魚釣りゲーム イス玉乗せ 誕生食	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ 誕生食
28日						

皆様にはご迷惑・ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。
今後も、安全第一に行っていきますのでご協力をお願い致します。

☆ 毎日、入浴（機械浴）・機能訓練（リハビリ）は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 新型コロナやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

☆ 来所時には新しいマスク（可能であれば使い捨ての不織布マスク）か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆　2月の予定　☆

4日　来　園　日
11日　のんびりしようデイ
18日　来　園　日
25日　ド　ラ　イ　ブ（ご希望にて）

立春とは申せ、まだまだ寒い日が続く毎日でございます。

皆様にはご迷惑・ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。
今後も、安全第一に行っていきますのでご協力をお願い致します。

感染予防を強化し（手洗い・うがい・消毒・マスク・検温）
3密を避け、みんなで気を付けて活動しましょう!!

参加費：180円（市民税非課税の方は無料です）
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

ふれあい　令和3年　3月の予定

在宅サービスセンター加美　☎042-553-3736

	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ CDカーリング	お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ 数えてペグ挿し	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 紙皿グラグラゲーム	展望風呂（午前・午後） ペットボトルおこし カラオケ
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
	展望風呂（午前・午後） お手玉積み上げ イス玉乗せ	後ろ向き玉乗せ ペットボトルおこし	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 魚釣りゲーム	田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ スカット玉入れ	展望風呂（午前・午後） CDカーリング カラオケ
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 魚釣りゲーム	ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	展望風呂（午前・午後） 輪投げビンゴ 賦り出しゲーム	CDボーリング イス玉乗せ	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム	展望風呂（午前・午後） スカット玉入れ カラオケ
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	スカット玉入れ 数えてペグ挿し	展望風呂（午前・午後） 後ろ向き玉乗せ CDボーリング	ペットボトルおこし 輪投げビンゴ 誕生食	展望風呂（午前・午後） 魚釣りゲーム イス玉乗せ 誕生食	展望風呂（午前・午後） ゆらゆら傘 カラオケ 誕生食
28日	29日	30日	31日			
	展望風呂（午前・午後） ロボお手玉入れ 大砲ボーリング	輪投げビンゴ 風船バレー	展望風呂（午前・午後） ヤクルト山積み 田植えゲーム			

皆様にはご迷惑・ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした。
今後も、安全第一に行っていきますのでご協力をお願い致します。

☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

☆ 新型コロナやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 3月の予定 ☆

4日　来　園　日
11日　来　園　日
18日　のんびりしようデイ
25日　ド　ラ　イ　ブ(ご希望にて)

三寒四温の言葉通り、春はすぐそこのようです。

皆様には大変ご迷惑・ご心配をお掛けして申し訳ございませんでした
今後も、安全第一に行っていきますのでご協力をお願い致します。

感染予防を強化し(手洗い・うがい・消毒・マスク・検温)
3密を避け、みんなで気を付けて活動しましょう!!

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

〈お問合せ〉
高齢者在宅サービスセンター加美
電話☎　042－553－3736
担当　森田まで

2020年度

高齢者在宅介護支援事業
事　業　報　告　書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告

高齢者在宅介護支援事業（福生市からの委託事業）

事業計画基本方針に則り高齢者支援業務を行った。

近年、精神障害に関する相談、経済的、財産相談、成年後見制度関係、高齢者虐待関係の相談が目立って増えており、非常に困難なケースが増加しているが、地域包括支援ｾﾝﾀｰとの協力により問題解決に取り組んでいる。

地域との関わり（民生委員、消防署、老人会、小地域活動等）だけでなく、保健所、医療機関との連携、他市の支援センターとの協力体制等、これまで以上に広がりを持ったネットワークづくりをしながら、対応に努められた。

高齢者や、その家族、近隣、地域からの多種多様な相談にも、それぞれのケースに応じた適切かつ早期対応に努めている。

また、事業計画重点施策については2-3ページにまとめた。

【職員配置・管理運営】 3.31現在

職名	職員配置人数と氏名（資格）	
管　理　者	1	佐々木　和仁
相　談　員	2	鈴木　敦子　：介護福祉士 勝田　幸恵　：介護福祉士

福生市在宅介護支援センター加美　運営報告書　令和2年度年間合計分

Ⅰ安否確認

1-（1）安否確認件数（実人数）

	新規	継続	月合計
件数	131	967	1098

年度合計
1098

1-（2）安否確認件数（延人数）

	訪問	不在	合計
件数	2245	334	2579

80歳名簿	訪問人数	781		
（訪問人数）	在家	633	不在	148
（在家内訳）	元気	139	相談	494

Ⅱシルバーピア

	新規	継続	合計
件数	1	43	44

（内訳）	日中	夜間
電話対応	141	0
協力員確認	323	0
訪問対応	88	0
不在	17	0
合計	569	0

Ⅲ相談件数

1-（1）　相談件数（実人数）

	新規	継続	合計
件数	665	1140	1805

1-（2）　相談件数及び内訳　（延人数）

		電話	来所	訪問	合計
本人		1165	136	1364	2665
家族	配偶者	65	0	58	123
	実子	157	4	72	233
	実子の配偶者	37	1	36	74
	その他	50	6	12	68
知人・隣人		9	2	8	19
民生委員		31	0	7	38
医療機関		70	0	47	117
福祉関係機関（施設）		89	0	20	109
行政機関		781	1	206	988
その他		308	0	25	333
合計		2762	150	1855	**4767**

2相談への対応

情報提供	1795
連絡調整	267
ケース検討	347
状況確認	1795
通院・外出支援	103
精神的支援	1690
合計	**5997**

3　会議等の実施状況

支援センター連絡会	16
民生委員等情報交換	16
ケースカンファレンス	51
合計	**83**

4申請代行内訳

介護保険申請	33
各種在宅サービス申請	98
その他	0
合計	**131**

（内・緊急キッド　）

5　夜間緊急時の対応

電話対応	0
その他	0
合計	**0**

福生市在宅介護支援センター加美　運営報告書　令和2年度年間合計分

5 相談内容等

在宅サービス				施設サービス		その他	
種別		種別		種別		種別	
《介護保険サービス》				介護保険施設相談	111	介護全般に関する相談	1381
【介護保険関係の相談】	582	その他高齢者施策		養護老人ホーム	79	医療に関する相談	1171
		・おむつ等の助成	33	その他(有料、ケアハウス等)	75	住宅に関する相談	568
《一般施策サービス》		・緊急通報・火災安全システム	19	計	165	経済的・財産に関する相談	390
高齢者の生活支援事業関係		・福祉バス	137			家族関係相談	534
・寝具類等乾燥消毒サービス	23	・老人杖の支給	66			認知症に関する相談	280
・訪問理美容サービス	23	・救急キット　災害時要援護者	167			消費相談関係	63
		・その他	16			成年後見制度関係	65
介護予防・地域支援支え合い事業		【一般施策サービス合計】	1751			高齢者虐待関係	22
・生きがい活動支援デイサービス	449					シルバーピア関連相談	159
・生活支援ホームヘルプサービス	2	《包括的支援事業》				他担当部署に関する相談	53
・生活支援ショートステイ	2	・介護予防教室	381			その他	14
・徘徊高齢者家族支援サービス	15	【包括的支援事業合計】	381			計	4700
・配食サービス	356						
		《社会福祉協議会サービス》					
高齢者いきいき事業		【社会福祉協議会福祉サービス】	276				
・家具転倒防止装置設置	30						
・自立支援日常生活用具関係	176						
・自立支援住宅改修関係	237						

2020年度　福生市高齢者在宅介護支援センター会議等出席状況

日付	会議名称	出席職員
令和2年4月17日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	中止（コロナ感染）
令和2年4月24日	包括・在支連絡会	中止（コロナ感染）
令和2年5月22日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	中止（コロナ感染）
令和2年5月29日	包括・在支連絡会	中止（コロナ感染）
令和2年6月19日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年6月23日	青梅・秋川ブロック会	勝田
令和2年6月26日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年7月15日	家族介護者教室打ち合わせ	勝田
令和2年7月17日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年7月28日	加美地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
令和2年7月31日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年8月11日	青梅・秋川ブロック会	中止（コロナ感染）
令和2年8月21日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年8月28日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年9月18日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年9月25日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年10月13日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
令和2年10月22日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年10月27日	認知症オレンジカフェ	勝田
令和2年10月30日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年11月19日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年11月27日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和2年12月8回	青梅・秋川ブロック会	中止(コロナ感染)
令和2年12月15日	家族介護者教室	鈴木・勝田
令和2年12月17日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和2年12月25日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田

令和３年１月 21 日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	中止（コロナ感染）
令和３年１月 22 日	加美地区個別地域ケア会議	中止（コロナ感染）
令和３年１月 29 日	包括・在支連絡会	中止（コロナ感染）
令和３年２月９日	青梅・秋川ブロック会	中止（コロナ感染）
令和３年２月 19 日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	中止（コロナ感染）
令和３年２月 26 日	包括・在支連絡会	中止（コロナ感染）
令和３年３月 18 日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和３年３月 24 日	家族介護者教室反省会	鈴木・勝田
令和３年３月 26 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
	以上	

2020年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

○本年度は年間延べ2,514件（前年度2,432件）のケアプラン作成業務を行った。
○福生市等からの委託業務である要介護認定調査、介護予防ケアプラン作成受託業務を積極的に行った。
○併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡方法が確立できた。
○利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理することで業務効率を図った。
○よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
○他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で研修会等を開催。
○東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。

収入実績：43,347,884円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおりの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（2021年3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）	
センター長	1	佐々木　和仁
管　　理　　者	1	新橋　和枝
介護支援専門員	6	新橋　和枝　（主任介護支援専門員　管理者兼務） 鈴木　俊哉　（介護支援専門員） 中川　祥子　（主任介護支援専門員） 大谷　真澄　（介護支援専門員） 鳥巣　紀久美（介護支援専門員） 下田　政勝　（介護支援専門員） 小泉　宏登　（主任介護支援専門員）

人件費実績：38,937,916円

福利厚生費実績：205,600円

ケアプラン

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
													0
ケアプラン作成													2,514
要介護 1	81	82	82	81	79	76	77	75	80	77	78	79	947
要介護 2	53	57	56	59	57	62	60	59	57	59	60	57	696
要介護 3	35	35	37	37	39	40	39	36	37	37	38	37	447
要介護 4	20	20	19	19	19	21	23	26	25	25	24	22	265
要介護 5	13	12	12	11	12	12	14	16	15	15	13	16	159

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援受託	45	45	44	41	42	41	41	41	39	37	34	34	484

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査	1					1							2

要支援・認定調査受託料推移

（円）

	要介護認定調査費	介護予防受託収入
4月	4,400	180,661
5月		192,787
6月		173,806
7月		169,764
8月		165,722
9月	3,300	164,493
10月		172,577
11月		168,535
12月		157,638
1月		153,596
2月		133,386
3月		133,386
合計	7,700	1,966,351

研修・会議等出席状況

月日	研修名称等	出席職員
4 月	利用者の近況報告・事業所内ミーティング	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
5 月	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
6 月	グリーンケアフォーラム zoom セミナー「実地指導対策と介護保険制度改正の影響」	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
8 月	第 1 回主任介護支援専門員連絡会	新橋・中川
	ケアプラン相談会	大谷
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
9 月	熊川地区個別地域ケア会議	中川
	住宅セーフティーネットシステムにおける居住支援の研修会	新橋・中川・小泉
	内部研修看取り研修	中川
	「家族システムについて」	小泉
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
10 月	第 2 回福生市主任介護支援専門員連絡会「災害時ケアマネジメント」	小泉
	ケアプラン相談会	小泉
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
11 月	福生市介護保険事業者連絡会ケアマネ部会研修「ST のことをどれくらい知っていますか」	新橋・小泉・下田・中川
	「1 から学ぶ成年後見制度」	大谷
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
12 月	第 3 回福生市主任介護支援専門員連絡会	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
1 月	ケアプラン相談会	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
2 月	東京都介護支援専門員研究協議会「R2 年度ケアマネジメント質の向上研修会」	大谷
	羽村市社会保険部高齢介護課「第 1 回介護支援専門員研修」	小泉・中川
	第 4 回主任介護支援専門員連絡会 ZOOM	小泉・中川
	ケアプラン相談会	小泉
	国保連動画配信｛R2 年介護サービス事業者支援研修」	新橋
	動画配信介護フェスタ 2021spring「R2 年度介護サービス事業者支援研修」	新橋
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川
3 月	「災害時の発生前にケアマネジャーができる備え」	小泉
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5 回	新橋・小泉・大谷・鈴木・鳥巣・下田・中川

研修費・旅費実績：23,800円
その他の経費予算額（併設第2サンシャインビラと面積按分等で計上しています）

2020年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　福　陽　会

特別養護老人ホーム　第２サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1．　事業報告（総括）

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルスの影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況となったが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。しかし年度後半に新型コロナの発症により施設経営や利用者ケアについて大きな影響が生じる事となった。特に 1 月中は利用者が入院できない状況であり、対応に苦慮する事態となり、日々コロナとの闘いを余儀なくされたが職員個々の努力によって収束を迎える事ができた。

地域交流については、家族介護者教室の開催にて地域の家族介護者への支援を 12 月に、地元加美町会や福生市との合同防災訓練を 3 月後半に実施。その他については新型コロナの影響により交流する機会も大きく減少した。

面会についてはオンライン及び特定の部屋を使用し窓越しの面会を実施。利用者様やご家族様から喜びの声やたくさんの笑顔を見る事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師・副理事長の福陽会の理念を職員個々に充分に理解・浸透させる事ができた。今年度は内部研修を中心に、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修の継続。看取りに関する時間外研修会を実施し多くの職員が参加する事でより理解を深める事ができた。

利用者の健康管理については、平均介護度 4.1 と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、コロナ発症までは精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に顧問医師を中心に例年以上に感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

一方では、開設から 25 年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、ナースコールの入替えや外壁の補修、エアコンの増設や居室換気扇及びダクト工事等を中心に細かな部分も含め修理・改善に要する費用が大幅に増加となった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような施設作りを強化並びに継続して行きたい。

介護報酬等収入実績：671,180,019 円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、年度後半のコロナ感染症発症があったものの冒頭のとおりの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

２．職　員　構　成　　3 月 31 日現在

担当職	職　　名	職員	非常勤
統括施設長		1	
顧問医師			1
副理事長		1	
産業医			1
施　設　長		1	
事　務　長		1	
事　務　員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		41	24
医務	医　師		3
	看護主任	1	
	看護職員	5	2
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	ＰＴ		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	8	0
保守管理・宿直	介助員	1	9

＊兼務職員は主たる職務に記載し、
　兼務している職務では（　）内に
記載

＊清掃・洗濯の
　一部はシルバー人材より派遣

人件費実績
：485,898,193 円

福利厚生費実績
：2,190,889 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数合計
相談員会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10				9
栄養会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10				9
行事計画委員会	13	11	8	13	10	14	12	10	8				9
苦情処理委員会				27									1
事故対策委員会		25					27						2
虐待・拘束廃止委員会			22			28			22				3
個人情報保護推進委員会	27				24								2
実習研修推進委員会	20	18	15	20	17	21	20	16	21				9
厨房会議		6		1		2		4					4
ケース会議	13	11	8	13	10	14	12	10	8	12	9	9	24
	27	25	22	27	24	28	27	24	22	26	23	23	
リーダー会議	9	14	11	9	13	10	8	12	10				9
広報委員会		11		8		9		11					4
施設内レクリエーション委員会		18	15	20	17	21	19		21				7
褥瘡予防委員会	13	11		13	10	14	12	10	8				8
衛生委員会	8	13	17	8	12	9	14	11	9				9
感染症対策委員会	15	25	22		24	28	27	24	22				8
全体会議	8	13	17	8	12	9	14	11	9			31	10
利用者懇談会													0
給食懇談会			1	6	3	7	5	2	7	4			8
法人合同会議	23	28	25	23	27	24	22					25	8
新型コロナ感染症会議	20・27	1	3		26			18					6
防火管理委員会	16												1

会議費実績：10,889 円

4．市区町村別入退所状況

	入　所		退　所		合　計	
	男	女	男	女	入　所	退　所
葛　飾	1	0	3	4	1	7
国　立	0	1	0	1	1	1
江　東	0	0	1	0	0	1
杉　並	0	0	0	4	0	4
世田谷	0	1	1	4	1	5
立　川	3	1	0	3	4	3
福　生	2	10	3	9	12	12
文　京	0	0	2	0	0	2
目　黒	0	0	2	3	0	5
その他	6	4	0	5	10	5
合計	12	17	12	33	29	45

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					178	0	0.0
5					178	8	0.3
6					178	52	1.7
7					178	68	2.2
8					178	52	1.7
9					178	59	2.0
10					174	54	1.7
11					174	51	1.7
12					174	20	0.6
1					174	14	0.5
2					174	0	0.0
3					174	2	0.1
合　計	0	0	0	0	2112	380	1.0

6. 処　遇　報　告

1)　2F 事業報告・活動報告

(1)年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。

感染症対策時期には外出支援ができないため、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

(2)安全対策

夜間帯、センサー19 機設置し最大 22 名の利用者様（1 機につき 2 名から 3 名の利用者様対象のケースもあり）のベッドから転落、ベッドからの歩きだしからの転倒、トイレ使用時の介助、見守りを行い事故防止に努める。

(3)フロア活動報告

【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【年間行事】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

【フロアレクリエーション】

6 月カラオケ大会、鈴カステラフレンチトースト　7 月かき氷大会　8 月季節の果物を食べる（西瓜）
9 月アイスクリームを食べる　10 月フォロー敬老演芸会　11 月フォロー演芸会　12 月みかんもぎ
1 月コーンスープ　2 月節分・豆まき　3 月ひな祭り
1 月　おやつ交流会（コーンスープ）2 月節分豆まき（職員仮装）3 月　ひな祭り（職員仮装）
1 月～2 月第 2 金曜　手芸クラブ野口講師によるボランティア活動　かるた、百人一首などの昔遊び

【フロア研修会】研修委員主催

4 月　消防について　6 月　食事の際の体位変換・食事姿勢　8 月　熱中症、脱水症状
9 月　事故防止（洞察力、展開力）　11 月 感染症対策

2)　3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて
ケアプランに基づいた個別ケアについて居室担当者が発信し、情報共有、フロア全体での実践・検証が更に定着している。情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することで午後以降のケアに活かせるような体制ができている。今後もより適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

前年度に比べ、内出血の報告が大幅に増大したが書式の簡素化に伴いほんの小さなものでも報告する意識が高まったことによるもので、むしろ今までがしっかり観察、報告できていなかったといえる。内出血はもちろんほかの事故についても当日必ずミーティング、状況により医務にも入ってもらいながら、より精度の高い効果的な改善案の作成や実施、一定期間経過後の評価を継続し、同様の事故を減少できるように努力していく。

新型コロナウイルスについては、他フロアの状況に鑑みて緊張感をもって感染予防に努めた。
利用者の体調観察や迅速なゾーニング。各職員についても社内はもちろん帰宅後も各自が体調や行動の管理、消毒の徹底などフロア一丸となって取り組み、何とか発症を抑えることができた。
今後も気を緩めることなく更なる感染症の理解と技術の向上を目指し、医務とも連携しながら感染予防に努めていく。

② フロアレクについて
レク委員を中心に季節ごとの飾りつけや誕生日の装飾、ベランダの草花など継続し、自粛ムードでも利用者の方に季節を感じていただけるよう取り組んだ。また大規模な「桜の会」やフロア忘年会では職員が歌や踊りのパフォーマンスを披露し盛大な盛り上がりをみせた。陽気の良い日には外気浴を実施するなど少しでも利用者の方に楽しんでいただけるよう努めた。

③各委員会の取り組み
入浴委員会
・利用者の状態変化や全体のバランスを考慮した入浴表の作成・見直し。
・感染予防や安全面・快適性に配慮した入浴環境の提供。
排泄委員会（感染症委員会）
・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や褥瘡予防策の提案・実施。
・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、ガウンテクニックの指導。
美化委員会
・感染予防の為の口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。
レク委員会
・季節感のあるフロア内外の装飾。
・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。
研修委員会
・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

3)　４F　事業報告・活動報告

＊目的
利用者様のその人らしさを尊重し、安心してより良い生活を送って頂ける様に、各職種との連携を図り、自立支援、個別ケアを目指していく。
＊実施結果
☆生活の質

利用者一人一人のケアプランの周知をフロア職員にチェック形式で行うことにより、利用者個々の想いや生活観など、ニーズに沿ったケアの実施と、他部署と連携しながら、利用者の変化に伴う迅速な検討、対応を図ることができ、利用者から安心して暮らせているとの声が多く聞かれていた。

適切な援助や、利用者の「出来る力」を引き出すために、優しくアプローチする職員の姿が
多く見られていた。

☆健康、医療面

ただれや剥離、内出血の発見時は報告書の提出、迅速なミーティングを心掛け、改善、再発防止に努め、こまめな体位交換や清潔保持できるよう努めてきた。

日々の観察にて体調の変化にも気を配り、医務との連携にて、早期発見と対応に努めていた。

看取り介護については、利用者個々の状態に合わせた清潔感のある安楽な環境を検討しケアに努め、
ご家族に対しても家族だけの時間を一緒に過ごせる環境を提供することが出来た。
今後も更に利用者、ご家族の立場に立った良い環境を提供できるようにすることが、課題と考えられる。

また看取り後に於いても、その人を主とした施設での思い出のアルバムを手作りし、
グリーフケアの一環として努め、ご家族からも大変喜ばれていた。

新型コロナ感染症発症期間内では、利用者に寄り添いきれないケアや、看取りに大きな衝撃を受けた。
しかしこの経験から感染症予防対策に対する知識と意識は予想以上に高まったと考えられる。

感染前までは、看取りの振り返りを居室担当発信で行えていたため。感染予防対策も含めて継続していきたい。

☆環境整備

ヒヤリハットは今年度より、さらに些細なことも含めた、発見、報告を意識付けと職員全体の目配り気配りのスキルを上げることが出来た。

低床ベッドの活用、足元マットの設置や、センサーの有効利用により、ベッドからのずり落ちは減少していたが、杖や歩行器、車椅子自操の方が増加、出来る限り自由に生活して頂けるよう配慮した結果、尻もち、転倒、転落、内出血も前年度を上回る結果となり、骨折へ至る重大な事案が 2 件発生する結果となってしまった。

業務については、職員数に合わせた業務の見直し、高率化を図ることで、職員の負担軽減することが出来たが、今後も状況に応じ見直しを継続して行く必要がある。

☆楽しみ

フロア活動では、天気の良い日には、気分転換に外気浴を行い、
アイスクリーム、かき氷、お好み焼き、じゃがバター作り、ホットケーキ、焼肉等の食を楽しみ
また、こいのぼり作り、ゲーム、カラオケ、かるた大会、映画上映会、各月の誕生日会を行い喜ばれていました。

コロナ禍により、ショッピングや外出活動が行えない状況である為、退屈な思いの無いように、
施設内での生活の中の楽しみや、利用者個々の要望に応える等、利用者の満足度を高める事に努力した結果、信頼関係が深まり、より良い雰囲気がつくられている。

面会が出来ない中、リモート面会を行えたご家族から、安心される姿が見受けられました。

以上、利用者にとって、より良い生活を送って頂けるように努めてきたが、
1 月 10 日より 2 月 28 日まで新型コロナ感染症が発症してしまい、入院が出来ない期間もあり、
蔓延防止の為に、利用者の生活環境が変わってしまう事がありましたが、施設全部署の協力もあり、
収束することが出来た。

今回の新型コロナ感染症で、閉鎖期間が生じてしまい、日々の利用者との平穏な生活がどれだけ
ありがたいか…を改めて実感しました。

4)　月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつバイキング	ﾗｰﾒﾝの日 冷し中華	うどん	希望食の日	誕生日会	理髪の日	移　動 美容室	ひまわり美容室
4	21	7	1	15	8	29	0	0	0
5	12	19	6	20	13	27	0	0	0
6	16	2	3	17	10	24	27	36	23
7	21	7	1	15	8	29	50	6	5
8	18	4	5	19	12	26	45	20	14
9	15	1	2	23	9	30	38	16	13
10	20	6	7	21	14	28	50	23	13
11	17	3	4	18	11	25	38	24	13
12	15	1	2	16	9	23	43	12	9
1	12	19	6	20	13	27	0	0	0
2	16	2	3	17	10	24	0	0	0
3	16	2	24	17	無し	31	0	0	0

5)　地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
	新型コロナウイルスの影響にて	
	地域行事への参加は無し	

6)　施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
5 月 9 日	次年度新卒者	1	13：00～15：00	施設見学、質疑応答
6 月 18 日	みずほ園職員	1	16：00～17：00	施設見学、打ち合わせ
9 月 1 日	介護学院受講生	1	15：30～16：30	施設見学、質疑応答
9 月 18 日	関係業者	2	15：00～16：00	施設見学、打ち合わせ
10 月 20 日	日本医療企画	2	13：30～14：30	〃
10 月 21 日	日研メディカル	1	14：00～14：30	〃
10 月 23 日	ハートフルスタッフ	1	10：00～10：30	〃
3 月 17 日	再来年度新卒者	1	13：00～15：00	施設見学、質疑応答
3 月 29 日	再来年度新卒者	1	13：00～15：00	〃

※その他施設入所希望のご家族等　多数見学あり

7)　日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

○給食費　39,693,203 円　○介護用品費　18,188,057 円　○医薬品費　5,986,712 円
○保健衛生費　2,452,978 円　○被服費　6,607,799 円　○日用品費　1,846,606 円
○水道光熱費等 29,015,013 円　○消耗器具備品費　11,301,007 円
○車両費　244,609 円

７．厨房事業報告

（１）実施内容「オムライス」　　実施日　R2.12.12（土）

目的
　日々の食事の中で利用者様に喜んでいただけるよう
　クリスマスの献立としてオムライスを提供し
　雰囲気を楽しんでいただければと計画しました。
結果
　普段出ることのないメニューにより
　懐かしさ等感じていただけた様子で
　皆様から「美味しかった。」との声が聞かれ好評でした。
◎代替食実施状況
○青魚禁→白身魚で対応
　2F　０名　　3F　０名　　4F　４名
○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応
　2F　０名　　3F　０名　　4F　３名
○うなぎ禁→丼物等中心で対応（牛丼等）
　2F　０名　　3F　４名　　4F　２名
○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応
　2F　３名　　3F　６名　　4F　５名
○その他禁　　カレー、納豆、長芋、卵（温泉卵）、えび、かに、揚げ物、ブロッコリー、オクラ、バナナ、キウイ、マンゴー等→他の食材もしくは調理法で対応
◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	1	ラーメンの日	9	2	冷やし中華		31	年越し
	29	誕生会		13	敬老の日	1	1	元旦祝膳
5	6	ラーメンの日		30	誕生会		6	ラーメン
	27	誕生会	10	7	ラーメンの日		7	七草粥
6	3	冷やし中華			文化祭は中止		11	鏡開き
	24	誕生会		28	誕生会		27	誕生会
7	1	冷やし中華	11	4	ラーメンの日	2	3	ラーメンの日
		盆踊りは中止		25	誕生会		24	誕生会
	29	誕生会	12	2	ラーメンの日	3	3	ひな祭り
8	5	冷やし中華		12	クリスマス会		24	ラーメンの日
	26	誕生会		23	誕生会		31	誕生会

うどん、そばの日　　月１回
希望食の日　　月１回　10 月～6 月は刺身　7 月～9 月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
6	1	2F	4	食事について 感想、希望等	概ねよく召し上がっている様子 相談員から情報聞きながら話を伺った
7	6	2F	4	〃	積極的に嗜好について話していただけた 甘味は皆さんお好きな様子だった
8	3	4F	5	希望食の 日について等	7月から9月の希望食の鰻について 伺ったところお好きな方が多かった
9	7	4F	5	食事について 感想、希望等	嗜好について具体的な名称が出ない方もいたが、 よく召し上がっている方多い様子
10	5	4F	5	〃	好き嫌いがある方も、すでに代替対応になっている等 普段の食事はよく召し上がっている様子
11	2	4F	5	〃	嗜好について比較的具体的な名称を挙げて 話していただけた
12	7	3F	5	新メニューに ついて等	新しいメニューについて伺った 美味しいと好評であった
1	4	3F	5	食事について 感想、希望等	塩分制限のある方で味付けにやや不満出たが 概ねよく召し上がっている様子

※毎月1回第1月曜日 PM2:30～3:00までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADLや食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

８．医務室利用者健康管理報告

１利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

実施内容と方法

① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
④ 週に３回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
⑦ 毎月１回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標１に対して 2020 年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。
今年度は 49 名の死亡退所者がおり、入院先での死亡者 4 名、急変等により死亡された方 12 名、新型コロナウイルス感染症により死亡された方 8 名、ターミナル対応の末に亡くなった方 24 名であった。
亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。
今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努めることと前年比より多くの死亡退所者が出たことの考察も必要である。
感染症時期以外の夏場や季節の変わり目での感冒症状から状態が悪化することがあり、感染症に対して委員会の開催や研修を行い、対策を強化した。

２感染症の発生及び蔓延防止（新型コロナウイルスも含む）

実施内容と方法

① 年２回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアーでの職員研修を実施。
② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
③ 通年を通し感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
④ 職員の手洗いうがい、アルコール消毒施行の徹底。
⑤ 11 月より 3 月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロアー・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロアー1 台）を設置し湿度調整を図る。
⑥ 感冒症状の呈した利用者の居室には次亜塩素酸消毒液入りの加湿器を設置（厚労省の推奨がないため、12 月より中止）。
⑦ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
⑧ 対面面会を中止し窓越しやリモート面会を実施し感染症を持ち込まないようより徹底した取り組みを行った。
⑨ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
⑩ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
⑪ 各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
⑫ 新型コロナウイルスについて
・毎月の感染症対策委員会と青山顧問医師をもとに臨時の感染症委員会を実施
・厚労省や東京都からの通達をもとに 4 月より面会制限や委託業者の中止・制限、また新規入所や短期や入所に対し個室隔離を実施し、外部からのウイルスの持ち込みを防止する
・職員の更衣、昼食の場所など配慮し各部署やフロアー毎に濃厚接触者にならないように努める

今年度も世界的な新型コロナウイルスの発症拡大により施設でも例年以上の対策を実施したが、1月に職員、利用者共に新型コロナウイルスを罹患した。保健所の指導の下にゾーニングなど感染対策を実施するが、入院出来ない状況や施設での医療行為の限界などもあり、多くの陽性者や死亡者を出す結果となった。
また感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ0名・ノロウィルス0名であった。突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も新型コロナウイルスや他の感染症における感染対策について、お亡くなりになった利用者様の分まで今回の教訓や経験、また風化しないよう意識を保てるように、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図り繋いで行く。

３褥瘡を含む皮膚トラブルの予防
実施と内容
① 入所時より定期的に利用者のADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。
実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は0%、褥瘡新規発生者0名、発生率は0%となった。
次年度以降も褥瘡発生率0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

2020年3月31日現在の医療処置対応者
胃瘻による経管栄養施行者4名
在宅酸素使用者2名
褥瘡処置者0名
血糖測定者0名
経口摂取困難による点滴施行者1名（ターミナル者1名）

９．リハビリテーション報告

(1)総括
令和２年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力の予測とともに日常生活への適応にも努めた。
また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為のひとつひとつを注意深く観察し、精神的高揚につながるようアプローチも合わせて行った。
(2)実施事項
① 理学療法士による評価・プログラム作成
② 関節可動域訓練・マッサージ
③ 温熱療法
④ 筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
⑤ 廃用性の機能低下防止
（3）結果
・関節可動域の維持拡大、姿勢調整　２４名
・起居・移乗・移動動作能力の維持向上　２３名
・疼痛の軽減　９名
以上の結果が得られた。令和２年４月から１２月においては関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。車椅子・歩行器使用者で日々の起居・移乗・移動動作能力の維持、向上を目標とした利用者の訓練にも努めた。また、体調不良により訓練中止とな

った利用者においても他部署との連携により早期再開を進め、昨年同様廃用性の機能低下防止にも努めた。　日々、独歩にて移動を行っていた認知症の利用者が転倒、大腿部頚部骨折に至ったケースにおいては、退院後早々に訓練を開始し週３回程度の訓練の中で体幹・下肢の関節可動域訓練、体幹・下肢の筋力強化訓練、下肢支持性・立位バランス訓練、歩行訓練を施行した結果、立位姿勢、立位バランス、歩行能力向上認め歩行器での生活が可能となり、機能回復、生活の質の向上に繋がった利用者。
また、アルツハイマー型認知症進行により四肢・体幹の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、排泄・更衣介助の介助量が軽減した利用者もあり同様のケースが９件ほどみられた。 その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。
令和３年１月から３月においては、感染症によるフロアー閉鎖により活動制限から多くの利用者に廃用性の機能低下がみられた。 離床時間の減少から関節可動域制限進行により座位姿勢の不良、排泄介助への影響、筋力低下から起居・移乗・移動動作能力の低下など様々な日常生活動作能力の低下が認められた。今後、早急に全ての利用者に対しての評価、問題点の把握に努め理学療法、生活リハビリを施行し四肢・体幹の関節可動域の拡大、起居・移乗・移動動作能力の向上など、機能回復に繋げることが大きな課題である。

(4) 反省点

① 車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアーへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアーを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にても周知徹底し再発防止に努める。

1)　リハビリ実施報告表

	R．O．Mマッサージ			温熱療法		
月	実施日数	対象者数	実 施人数	実施日数	対象者数	実施人数
4	26	27	313	26	1	7
5	26	25	320	26	1	8
6	26	26	299	26	1	5
7	27	25	308	27	1	0
8	26	24	396	26	0	0
9	26	24	150	26	0	0
10	27	23	234	27	0	0
11	25	22	265	25	0	0
12	27	22	212	27	0	0
1	21	21	143	21	0	0
2	21	21	56	21	0	0
3	26	18	237	26	0	0
計	304	278	2933	304	4	20

	起立バランス歩行			理学療法士による評価		
月	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施評価人数
4	26	23	236	0	31	0
5	26	24	211	2	29	11
6	26	22	190	2	30	10
7	27	22	223	3	29	14
8	26	22	190	3	28	14
9	26	22	138	3	28	15
10	27	22	191	3	27	15
11	25	23	216	3	27	16
12	27	24	222	3	27	14
1	21	23	157	0	0	0
2	21	23	74	0	0	0
3	26	20	208	0	0	0
計	304	270	2306	22	256	109

10．生活相談員・介護支援専門員　事業報告

『法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご家族および 他職種との連携により、利用者一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援します。』を柱として下記の通り努めました。

Ⅰ．利用者の生活支援

・新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接等により利用者の状態像の把握に努め、入所判定会議に諮ります。入所判定会議については、基本的に毎週１回の定期開催とし、顧問医師である青山医師に同席いただき、関係各部署と情報の共有を図るとともに、受入れの可否及び受け入れにあたっての注意事項などの情報共有に努めています。2020 年度においては、新型コロナ禍という事もあって、事前面接が制限されることも多く、必然的に電話での情報収集が多くなりました。また当施設での新型コロナ陽性者発生期間もあり、入所確定までお待たせしてしまうこともありました。そんな中でも、事前にご家族とも相談を重ね、入所される利用者が、環境の変化に戸惑うことなく施設での生活に移行できるように支援に努めています。

・入所後の利用者の生活支援にあたっては、利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。加齢や様々な疾患により、ＡＤＬに変化がみられる場合は、医師をはじめ各部署からの意見をまとめ、ご家族とも情報を共有し、改めて計画書を作成し、状態に合わせたケアの提供に努めています。
・ご家族と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者の支援を一緒に行っていくよう努めています。またご家族の意見要望に対して真摯に向き合い、利用者ケアの質の向上につなげられるよう努力しています。
・看取り介護（終末期ケア）においては、利用者本人及びご家族の意向を尊重し、また不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して過ごしていただけるよう努力しています。ご家族の方から、心のこもった感謝のお言葉を頂戴し、また今後のケアに活かしていけるようにと考えています。
・２０２１年１月から３月にかけて、新型コロナの施設内クラスター発生により、ご利用者様及びご家族様には大変なご迷惑と不安をおかけしましたこと、改めて深くお詫びいたします。期間中もまたその後も、ご家族の皆様、関係するすべての皆様から、温かい励ましのお言葉を頂戴しています。心より御礼申し上げます。今回の経験を糧に、今後更なる感染予防に努め、入所されている利用者様に安心して過ごしていただけるよう努めていきます。

Ⅱ．ベッド稼働率

・各部署との連携を強化し入所利用者の体調管理に努め、ベッド稼動の安定に努めました。
・早期の情報収集・事前面接・入所判定等により、新規利用者のスムーズな入所に努めました。
残念ながら、施設内クラスターの発生により、１月以降は新規入所を中止させていただきました。3/18 の収束後、各方面への情報発信とともに新規入所に向けた取組を再開しています。

11．クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度は、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考える。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

③ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶　道	井上先生	書　道	石井先生
華　道	佐野先生	陶　芸	川口先生
水彩画	職員　室賀		
手　芸	未定		

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：小佐野未来

【活動報告】
1）新型コロナウィルス感染予防の為クラブ活動中止。
2）新型コロナウィルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。

【月別活動報告】

月	内　　容	月	内　　容
4 月	コロナウイルス感染予防の為中止	10 月	コロナウィルス感染予防の為中止
5 月	〃	11 月	〃
6 月	〃	12 月	〃
7 月	〃	1 月	〃
8 月	〃	2 月	〃
9 月	〃	3 月	〃

手芸クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：酒井みどり

【活動報告】
1） 前年度 2 月後半から新型コロナ感染症の流行により、クラブ活動が中止となってしまいました。また、今年度途中で講師の先生から引退の申し出がありました。収束後、新しい講師の先生を探すことから始め、再び皆さんで楽しんでいただけるよう準備していきます。

書道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：奥平幸子

【活動報告】
1. 新型コロナウイルス感染症流行の為、書道クラブ活動は 1 年を通し休止されました。
感染症が早く収束し、皆様とまた書道の練習に励めますよう心から祈っております。

【月別活動報告】

月	内　　容	月	内　　容
4 月	活動中止	10 月	活動中止
5 月	活動中止	11 月	活動中止
6 月	活動中止	12 月	活動中止
7 月	活動中止	1 月	活動中止
8 月	活動中止	2 月	活動中止
9 月	活動中止	3 月	活動中止

華道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：大柄さとみ

【活動報告】
1）第２・４木曜日に活動だが、新型コロナウイルス感染症の予防対応でクラブ中止

【月別活動報告】

月	内　　容	月	内　　容
4 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。	10 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止
5 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	11 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止
6 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	12 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止
7 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	1 月	新型コロナ対応でクラブ中止
8 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	2 月	新型コロナ対応でクラブ中止
9 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	3 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：室賀　こずえ

【活動報告】
新型コロナウイルスの影響により活動中止とした。

【月別活動報告】

月	内　　容	月	内　　容
4 月		10 月	
5 月		11 月	
6 月		12 月	
7 月		1 月	
8 月		2 月	
9 月		3 月	

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	講師：川口　由美子
【活動報告】 新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4 月　日	観桜会	新型コロナウイルスの関係で中止。
5 月　日	日帰りドライブ	新型コロナウイルスの関係で中止。
7 月　日	納涼盆踊り大会	新型コロナウイルスの関係で中止。
9 月 13 日	敬老会	午前福生市長来園にて表彰。各フロアにて祝い膳を楽しむ。
10 月　日	文化祭	新型コロナウイルスの関係で中止。代替えとして 10/29 模擬店大会を実施。
11 月 3 日	焼き芋大会	核フロアにて焼き芋を楽しむ。
12 月 19 日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにてケーキを楽しむ
1 月 1 日	元旦祝膳	昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は熊川神社へ初詣。
2 月 1 日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3 月 3 日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

行事等教養娯楽費実績：1,765,283 円

13. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

○事務消耗品費　12,391,228 円　○印刷製本費　1,070,918 円　○修繕費　17,956,492 円
○通信運搬費　1,905,006 円　○広報費　2,608,387 円　○業務委託費　14,850,136 円
○手数料　5,444,729 円　○保険料　493,160 円　○賃借料　12,894,252 円
○租税公課　188,614 円　○保守料　4,902,272 円　○渉外費　301,138 円
○諸会費　302,840 円　○雑費　627,928 円

固定資産

ダクト交換　7,053,640 円　雨水給排水設備　15,520,930 円　空調交換　7,569,100 円
送迎車両購入　1,833,150 円　体温測定器　660,000 円　洗面台設置　663,743 円
Wifi 工事　1,045,000 円　メインサーバー入替　1,532,630 円　PC　283,800 円
ナースコール入替　7,225,900 円　擁壁工事　3,117,400 円

14. 事故報告．ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	1	1								1	1		
転倒	2	2		1	1	1			2	1		1	11
転落（ベッド）	4	3	3		1	1	3	2					17
転落（車椅子・椅子）			2	2	2			4	4				14
ずり落ち（移乗失敗）						1							1
剥離・裂傷								1	1	1			3
内出血		1				24	19	8	6	9	3	1	71
誤嚥								1					1
異食（誤食）							1		1			1	3
尻もち			1	2		2	1						6
徘徊（施設外発見）													0
徘徊（施設内発見）													0
服薬ミス	2		1		2			1				1	7
その他	5	3	1						1	1			11
合計	14	10	8	5	6	29	24	17	15	13	4	4	149
2 階	ヒヤリハット					66 件							

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	1												1
転倒			1	1	1	1	1		1				6
転落（ベッド）	2	2	1								4	2	11
転落（車椅子・椅子）	1	2				1			1				5
ずり落ち（移乗失敗）		2		3	1			1	1	1		2	11
剥離・裂傷			2	1		2		1	3	1	1	3	14
内出血	1					15	7	7	3	2	9	7	51
誤嚥													0
異食（誤食）											1	1	2
尻もち			1		2	2	2	2			2		11
徘徊（施設外発見）													0
徘徊（施設内発見）		1	1	1									3
服薬ミス						3	3	1		1	1		9
その他		1	2	2	1	3	4	1			4	2	20
合計	5	8	8	8	5	27	17	13	9	5	22	17	144
3 階	ヒヤリハット					92 件							

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折			1		1								2
転倒		1	2	2	2	2	1	2				4	16
転落（ベッド）	1	3	1		2				2				9
転落（車椅子・椅子）		1			1	1	1	1	1				6
ずり落ち（移乗失敗）	1			1	1	2	1		1				7
剥離・裂傷	1			2	1			1					5
内出血	1	1			1	13	8	16	4	2		4	50
誤嚥													0
異食（誤食）	1		1	1				2					5
尻もち			2	5	2		2	1			1	2	15
徘徊（施設外発見）													0
徘徊（施設内発見）													0
服薬ミス				1	2			1	1				5
その他	4	4	2	2	1	4	3	3	2			1	26
合計	9	10	8	14	13	22	16	27	11	2	1	11	144
4 階	ヒヤリハット					185 件							

15. 職員研修報告

【外部研修】

月	日	研修･出張内容	主催者	参加者
5	18	防護服着脱訓練	日の出町放射線計測協会	小椋
5	18	防護服着脱訓練	日の出町放射線計測協会	井梅
11	2	安全運転管理者講習	東京都公安委員会	古谷康司
12	11	実務者研修教員講習会	日本医療企画	井梅
1	22	介護報酬請求事務研修	東社協	玉上

【内部研修】

回	月　日	内　　容	人数	講師	主　催
1	4 月 8 日	新型コロナウィルス	18	青山医師	衛生委員会
2	5 月 13 日	新型コロナウィルス	21	青山医師	衛生委員会
3	5 月	新型コロナ感染防止の取り組み	資料	研修委員	実習研修推進委員会
5	6 月 11 日	食事の際の姿勢 （事故防止）	10	研修委員	実習研修推進委員会
6	6 月	不適切ケアと虐待の違いを知る	資料	研修委員	実習研修推進委員会
7	6 月 17 日	新型コロナ ／ 熱中症	22	青山医師	衛生委員会
8	7 月 8 日	コロナに於ける新しい生活様式	28	青山医師	衛生委員会
9	7 月 20 日	褥瘡予防に於ける円座クッション	16	研修委員	実習研修推進委員会
10	8 月 12 日	コロナ ／ 夏風邪	19	青山医師	衛生委員会
11	8 月 17 日	事故とヒヤリハット	21	研修委員	実習研修推進委員会
12	9 月 9 日	コロナとインフル ／ コロナ後遺症	24	青山医師	衛生委員会
13	9 月 21 日	看取りについて	20	中川祥子（居宅職員）	実習研修推進委員会
14	9 月 26 日	事故防止 （2F フロア）	11	2F リーダー	2F フロア
15	10 月 14 日	インフルエンザ	22	青山医師	衛生委員会
16	10 月 29 日	嘔吐物の処理 （4F フロア）	10	4F 研修委員･感染症委員	実習研修推進委員会
17	11 月 11 日	冬の室内環境 ／ マスク･ワクチン	23	青山医師	衛生委員会
18	11 月 16 日	私にしかできない介護 （看取り）	36	佐々木施設長	実習研修推進委員会
19	11 月 17 日	嘔吐物の処理 （2F フロア）	9	2F 研修委員･感染症委員	実習研修推進委員会
20	11 月 20 日	嘔吐物の処理	18	医務	実習研修推進委員会
21	12 月 9 日	唾液 IgA パワー	25	青山医師	衛生委員会
22	11 月 26 日	嘔吐物の処理 （感染症）	3	4F 感染委員	実習研修推進委員会
23	12 月 28 日	ボディメカニクス/ 移乗 （事故）	7	奈良野主任（リハビリ）	実習研修推進委員会
24	3 月 31 日	身体拘束	20	佐々木施設長	実習研修推進委員会

新型コロナ感染症の流行が世間を騒がしている中、医療、福祉関係者に於いて、感染予防策への取り組みが重要となっている。

今期の研修会は「感染症（特に新型コロナウィルス感染症)」についての研修が主となっており、適宜に更新される新しい情報、知識を顧問医から

迅速に取り入れることが出来た。研修会の会場に於いても、「換気」「蜜を避ける」等の工夫を加え実施することができた。

しかし、感染状況により開催できない期間もあったため、講義型中止し、資料のみでの学びや職員アンケートをもとにした施設ケアの実態の周知に

努めた。

施設内での新型コロナウィルス感染対応の経験した感染委員会では、定期で研修会での感染症に関する知識習得はもちろんのこと、ガウンテクニック、手指消毒の標準化を図ることも重要と示し、今後も感染症委員と連携して定期研修会以外での取り組みも検討する必要があると考える。

（ここ例年実施している地域の方と学ぶ「応急救護」はコロナ感染の影響で未実施となった）

旅費･研修費実績：2,429,676 円

16．ボランティア受入の状況

※　新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先	

17．慰問受入状況

※　新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月日	慰問者名	人数	行事名等	内　容

18．実習生及び職場体験生徒受入状況

※　新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月	期　間	実習依頼先	人　数	実習内容及び目的

受入研修費収入額：　0 円

19．消防訓練実施結果

令和２年度は、引き続き震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。
また寝たきりの利用者の対応についても取り組む意識が出てきている。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

令和２年度訓練内容

日　　時	訓練種別	内　　容
4 月 16 日	防火管理委員会	消防計画の再確認。 今年の出水期に備え水害や土砂災害から施設利用者の身を守ることを目的として避難の実効性を高める必要がある。
5 月	新型コロナの為中止	
6 月	新型コロナの為中止	
７月	消防審査会説明会	新型コロナの為中止
8 月	消防審査会参加訓練	新型コロナの為中止
9 月 17 日	消火訓練	１階厨房より出火した想定で訓練用消火器６本及び２号消火栓により消火訓練を実施しました。 特養及びデイサービスが参加。
10 月 23 日	避難訓練	3 階を発災場所と想定した避難訓練。 特養及びデイサービスが参加。
11 月	新型コロナの為中止	
12 月	新型コロナの為中止	
1 月	新型コロナの為中止	
2 月	新型コロナの為中止	
3 月 23 日 3 月 26 日	避難訓練 消火訓練	首都直下地震が発生した想定で福生市との協定により当施設が福祉避難所に指定されている為、福生市と第２サンシャインビラ合同でパーテーション及び段ボールベットの設置訓練を実施しました。 １階厨房より出火した想定で訓練用消火器６本と２号消火栓により、加美町会と第２サンシャインビラ合同で消火訓練を実施しました。

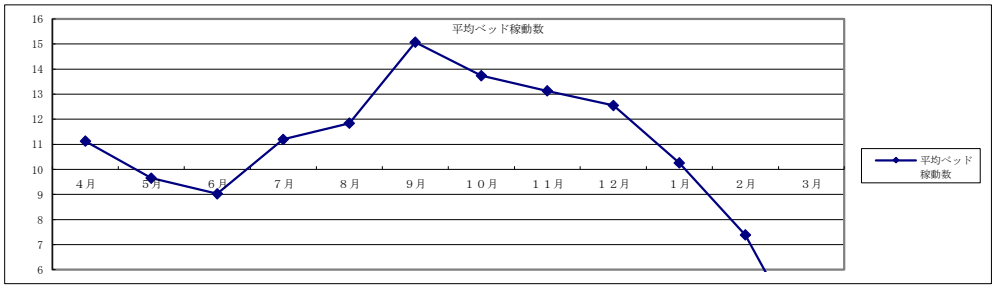
20. ショートステイ事業報告

令和２年度も稼働率 85%（13.6 名/日）という目標を立てて運営努力した。
この目標に対し、実績は令和元年度実績前年を下回り 66.42%（10.6 名/日）という結果であった。令和２年度も、措置依頼や緊急避難的な長期のショートステイ利用者を 15 名に設定して稼働した。
新型コロナウイルスによる第１四半期、第４四半期（約半年間）の受け入れ中止等で、稼働率が伸び悩んでしまった。
令和３年度は、令和２年度同様に稼働率 85.0%、13.6 名／日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。
介護報酬収入等年間実績 46,678,976 円
人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

令和2年度ショートステイ事業活動実績報告

月別利用者延人数調査

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	total
利用者数	12	11	18	18	17	19	19	21	16	13	9	7	180
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護度2	0	0	1	1	1	2	2	2	2	1	1	0	13
要介護度3	7	5	6	6	7	6	6	4	3	3	2	3	58
要介護度4	3	4	7	7	6	7	6	9	7	6	4	2	68
要介護度5	2	2	3	3	3	4	5	6	4	3	2	2	39
延利用日数	334	296	347	347	367	452	426	394	389	318	207	80	3,957
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護度2	0	0	6	6	9	39	38	12	11	28	28	0	177
要介護度3	202	152	123	115	152	117	95	65	75	65	36	52	1249
要介護度4	90	124	149	157	130	177	166	189	202	149	87	12	1632
要介護度5	42	20	67	67	76	119	127	128	101	76	56	16	895
平均ベッド稼動数	11.13	9.65	9.03	11.20	11.84	15.07	13.74	13.13	12.55	10.26	7.39	2.58	年平均 10.63



ショートステイ利用日数状況調査（年間）

＊前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
４月	0	0	0	1	0	11	12
５月	0	0	2	0	0	9	11
６月	3	4	2	0	0	8	17
７月	3	7	1	0	2	9	22
８月	0	6	2	1	1	10	20
９月	1	8	0	1	0	14	24
１０月	2	8	0	1	1	12	24
１１月	1	8	1	1	1	12	24
１２月	0	7	0	1	1	11	20
１月	0	2	0	1	0	10	13
２月	0	0	1	1	1	6	9
３月	0	2	2	2	0	1	7
合計	10	52	11	10	7	113	203
	4.9%	25.6%	5.4%	4.9%	3.4%	55.7%	100.0%

特養空床利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2020　年　度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　福　陽　会

特別養護老人ホーム　第３サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事　業　報　告　目　次

項　　目	ページ
事業報告	
１．　事業報告(総括)	1-2
２．　職員構成	2
３．　会議・懇談会・委員会開催状況報告書	3-4
４．　処遇報告	4-6
1)　2F 事業報告・活動報告	
2)　3F 事業報告・活動報告	
3)　4F 事業報告・活動報告	
4)　移動理美容	
5)　日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
５．　厨房事業報告	7-9
６．　医務室利用者健康管理報告	9-10
７．　リハビリテーション報告	11
８．　生活相談員・介護支援専門員	12-13
９．　クラブ活動実績報告	14-15
10.　年間行事実施報告	16
11.　事務費・固定資産物品報告	16
12.　事故報告・ヒヤリ・ハット報告	17
13.　職員研修報告	18
14.　ボランティア・慰問　受け入れ状況報告	19
15.　消防訓練実施結果	19
16.　ショートステイ事業報告	20

１．事業報告（総括）

1. 中長期経営計画
（1）福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で、全職員が基本理念を基本としたサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。
（2）中期基本方針
①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署で連携を取り、各部署風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。
②2019 年度は退職者が多くいたが、新戦力も加わり、新たな体制構築の為「報告」「連絡」「相談」を密に行い、業務改善等、施設全体で協力していける体制を作ることができた。
③内部研修ではグループワークを取り入れ、皆で考える研修も行った。研修内容も検討し、次年度に向け、利用者様が毎日どのような気持ちで日々を過ごしているかを知る為に体験型研修実施準備を行った。
④業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

2. 基本目標
福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長に来園頂き、都度相談を行い、職員に対し理念、法人としての考えを伝えて頂く事で福陽会の職員としての意識向上を図りました。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

3. 基本方針について
加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活が営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。
（1）利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員１人１人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。
（2）地域社会との交流を深めるため、ボランティアの方々と交流を持ち、また、行事等に地域の方々にお越し頂くことがた。また、社会福祉協議会とも情報交換を行い、地域のニーズ及び利用者家族の動向、希望等を聞き施設運営に反映させることができた。
（3）利用者様が施設行事に気軽に参加できるよう、地元ボランティアに協力をお願いし、日常生活に変化と季節感が持てるような施設での雰囲気作り、催し物を工夫した。

4. 2020 年度の重点目標
今年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延により、ご利用者様をはじめご家族様、地域の方々、関係機関の方々に多大なるご心配をおかけしました。毎月行っている感染症対策委員会、衛生委員会を通し、日頃から感染対策を行っておりましたが、新型コロナウイルスは第３サンシャインビラにも猛威を振るいました。新型コロナウイルスの恐ろしさを目の当たりにし、今回経験をしたことをもとに施設顧問医師、西多摩保健所等のご指導を受け、感染対応を見直し新たなマニュアルを作成しました。世の中の新型コロナウイルス終息についてはまだまだ先になる事が見込まれます。
今後も油断することなく、今回学んだことや反省点を次に活かすため、定期的に感染対応についての訓練、徹底した感染対策を行っていきます。
今年度（新型コロナウイルス流行時）の看取り介護に関してですが、他部署が連携を図り、ご利用者様、ご家族様のご希望を聞き取りながら、職員一人一人何が出来るか考えながらケアをおこないました。ご本人様に好きなものを食べていただいたり、居室でアロマテラピーや音楽を流し、整容、

環境整備等、個々に寄り添った対応を行いました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為ご家族様の面会は控えていただいておりますが、看取り期のご利用者様を対象に感染対策を行い、日時を予約していただいた上で面会可能としました。コロナ渦ではありますが、ご利用者様、ご家族様に喜んでいただくことができました。引き続き他部署連携しご利用者様、ご家族様が第３サンシャインビラに来て良かったと思っていただけるよう努めていきます。
稼働率に関しては、特養の稼働率は 96.72%、ショートステイの稼働率は 57.26%となり、目標を下回ってしまいました。原因としては、新型コロナウイルス感染症発症後にご利用者様の入院数が増加したこと、感染が発症したユニットを一時閉鎖し、ショートステイの受け入れを停止したことにより稼働が落ちたと考えられます。
次に新型コロナウイルス流行前から掲げていた法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を実現するため、今年度の取り組みとして、接遇委員会を設立しました。接遇委員会では「挨拶」「笑顔」を目標に掲げ 1 年間取り組みました。挨拶、笑顔を通し、ご利用者様との関係性を良好にし、信頼関係を築くよう職員一人一人が意識を持ち取り組みました。また、体験型研修も取り入れました。体験型研修では、ご利用者様の生活を知ること、相手の立場に立ったケアが行えることを目的に、職員もオムツを着用したり、他職員の介助にて食事を食べたり、ご利用者様と同じような生活を過ごしました。生活を体験することで、ご利用者様どのような思いで生活をしているかを知る事ができ、ご利用者様目線でのケアを実践しました。接遇、体験型研修を通してケアに対する基盤づくりを行いながら、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長のご指導のもと目標達成に向け取り組みました。
行事については、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、３大行事は中止しました。その他毎月の行事については、感染に留意しながら規模を縮小して実施や、やむを得ず中止した行事もありました。今までのような行事が行えなかったため、新たな生活様式を模索しながらご利用者様の意向を聞き取り、行事内容を検討しユニット単位での行事を行いました。ご利用者様は自粛生活、ご家族とも会えない日々が続いていますが、行事を通して生活に変化が生まれ、楽しんでいただくことができました。
新型コロナウイルスの影響により、ボランティア等、外部との連携を図ることはほとんどできませんでした。これまでボランティアに来てくださっていた方との交流もできなくなっていますが、ボランティアの方々に暑中お見舞いや年賀状、電話などで連絡することにより関係性を保ち、新型コロナウイルスの状況が落ち着いた後、スムーズに地域との交流が図れるようにしました。
今年度経験した事を活かし、新しい生活様式を確立すると共に、ご利用者様の笑顔を多く引き出し、施設内での生活を楽しく、安心して過ごしていただけるよう職員一同取り組んで参ります。

２．職　員　構　成　　3 月 31 日現在

担当職	職　　名	職員	非常勤
施　設　長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事　務　長		1	
事　務　員		1	2
生活相談員		2(1)	1(1)
介護支援専門員		1(1)	2(1)
介護職員		24	33
医務	医　師		3
	看護リーダー	1	
	看護職員	3	1
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	ＰＴ		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	4	4
保守管理・宿直	介助員	1	5

＊兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（　）内に記載

人件費実績：331,703,461 円
福利厚生費実績：1,942,347 円

３．会議・懇談会・委員会開催状況報告書

委員会

今季より、会議日を第２木曜日とし開催した。会議日を月に一回開催とした事(必要時は臨時開催)で、勤務の調整もつけやすく、施設顧問医師、副理事長の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

1）苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見や、ご利用者様やご家族様等から直接聞いた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。委員会で話し合った内容については、職員に周知徹底してきた。身体拘束に関しては、拘束することなく利用者様が安全に生活することができるよう話し合い、拘束は行わなかった。また今までのように話し合うだけではなく、委員会の中でも３か月に１回研修をして、身体拘束について改めて勉強する機会を増やした。その研修を通して、より一層身体拘束について知識を増やして、より良いケアに繋ぐことが出来るように努めた。今後も３か月に１度の研修を継続していきたい。

2）行事計画委員会

新型コロナウイルス感染症の対策として、施設全体での活動を自粛しユニット単位でのイベント・行事を行った。小規模のイベントであったが、利用者様に寄り添う暖かみのある活動となり、利用者様に合わせた支援を行い、楽しんでいただくことができた。

次年度もユニット単位での活動を取り入れ、楽しんでいただけるイベントを企画していく。

3）虐待防止委員会

虐待の芽アンケートを４カ月に一度全職員に対して実施し、虐待についての状況を把握した。アンケート結果を評価し重点項目をピックアップして、改善できるよう注意喚起を行った。

苦情・拘束委員会と連携を取り、委員会の中で苦情内容が虐待に当たらないか話し合った。また、内部研修委員会とも連携を取り、研修内容について検討した。

スピーチロックについて学び、施設全体で虐待防止について意識を高められるよう努めた。また、他施設で実際にあった事例を挙げ、虐待についての勉強会を行った。

4）事故防止委員会

今年度は、KYT（危険予知訓練）を通し、未然に事故を減らせるよう取り組みを行った。委員会が主体となり、各部署に KYT のイラストシートを配布し、イラストの中から危険箇所を見つけ、集計したものを会議にて発表した。昨年度のヒヤリハット件数が 171 件だったのに対し、今年度は 366 件だった。職員の事故防止に対する意識が高まり、ヒヤリハットの件数にも反映した結果だと思われる。今後も事故を未然に防ぐことができるよう取り組みを行う。

5）研修委員会

実務で役立つよう、毎月の講師が工夫した研修内容を考え、実施することができた。

新型コロナウイルスの影響により、ZOOM を使用したリモート形式の研修に切り替えたが、その結果、ユニットを離れることなく研修を受けることができたため、より多くの職員が参加することができた。

本年度からは職員が利用者の立場になって介護を受ける体験型の研修を取り入れた。実際に食事介助を受け、トロミ付きの飲み物を飲み、介助を受ける側の立場を理解することができた。

6）褥瘡予防委員会

毎月、体重測定で体重の増減が激しい利用者様に対し、褥瘡リスク評価表を用いて高リスク者の選定を行った。また、機能訓練指導員とカンファレンスを行いながら早期に褥瘡予防に努めた。

発生者の褥瘡対策個別計画書を毎週各部署へ配布し、現在の状況や対応の情報共有をおこなった。皮膚トラブル・褥瘡発見時は相談員、機能訓練指導員、フロアスタッフと創部の確認を行い対応策の検討を行った。また、管理栄養士と共に栄養摂取への対応策も検討した。年１回、機能訓練指導員と話し合い内部研修を行うとともに、適宜、利用者様の状態に基づき各フロアに個別性を持ったケアの方法論を伝達した。

7）感染症委員会

委員会を通して、新型コロナウイルスの現状や注意点、感染予防に対する知識提供などを行った。第３火曜日には施設顧問医師よりスタッフへ指導を頂き、啓発に努めた。

2020 年度は新型コロナウイルスのパンデミックに伴い、４月と 10 月に飛沫・接触感染に関する勉強会を行った。飛沫により感染リスクが高まることから、１階トイレでの手洗い・うがいは中止と

し、出勤時に体温測定と体調チェック、アルコールでの手指消毒を徹底した。
新型コロナ感染症のクラスター発生に伴い、随時カンファレンスを行い、再発予防と新規マニュアルを作成、各フロアへ浸透するよう努めた。また、隔離マニュアルの変更も行い、各フロアで模擬的に施行し、認知できるよう働きかけた。
8）衛生委員会
職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと労働者の健康管理の維持に努めた。
衛生管理者等による施設内巡回を定期的に実施し、職員が仕事しやすい環境整備に努めた。
職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。
9）業務検討委員会
各部署が意見、議題を出し合い業務改善について話し合いを行った。今年度は新型コロナウイルス対策について重点を置き、業務の統一化を図った。他部署が連携を図り、チームワーク良く対応することができた。稼働率についても話し合う事で、各部署の所属長が運営に関しても意識を持ち、業務改善を行うことができた。
10）栄養会議
毎月の体重測定や食事摂取状況について情報の共有を行い、食行動に問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法についての話し合いを実施し、対応の検討を行った。
食事に関するイベントの確認や諸連絡の伝達を実施した。
11）リーダー会議
月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。
ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携し、ご利用者様へのサービス提供の強化に努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーとしての質の向上にも努めた。
12）ボランティア委員会
新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア活動・新規受入れやボランティアの方と施設職員の交流を図るための交流会が中止となった。今後は、社会福祉協議会と連携を図り、リモートやビデオレター等での交流も考えていく。利用者様に少しでも楽しんで頂ける時間を作り、出来ることから一つずつ行っていきたい。
13）接遇委員会
今年度より新たに接遇委員会を立ち上げた。「挨拶」「笑顔」を年間目標に設定し、ポスターを掲示することで職員へ呼びかけを行った。また2か月に1度身だしなみチェックを行い、職員の身だしなみに対する意識を高めていけるように努めた。
今年度よりタイムカードの位置を事務所前に変更した。設置場所を変えたことで出勤時に顔を合わせることができ、自然と挨拶できる環境整備に繋がった。年間を通して、挨拶をする職員の増加につながった。来年度は「言葉遣い」を年間目標に掲げ、職員の言葉遣いの見直しを図っていく。

４．処　遇　報　告

介護部　事業報告
福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で職員一人ひとりが基本理念を理解し、業務を行うよう努めた。利用者様一人一人の個性に配慮し、生活のペースを崩さず生活支援を行えるようコミュニケーションを密に行い、利用者様の不安に思っていることや求めていることの把握に努めた。
新型コロナウイルスの影響で外出や面会、クラブ活動などが制限されている為、施設職員で書道やお菓子作りなどのレクリエーションを行い、日々の楽しみを提供できるよう努めた。今後も、身体介護だけでなく、精神的な支援にも力を入れ、心身ともに質の高いサービスを提供できるよう努めていく。

1）　2F 事業報告・活動報告
(1)あやめユニット
感染対策を徹底し、身体機能の維持・向上のため、日課としてリハビリ体操やレクリエーションを行いメリハリのある生活が送れるよう支援した。
利用者様の話に耳を傾けることや、表情の変化にも気付けるよう努めた。

ユニット内の定期的な整理整頓、清掃に努め、利用者様の住みよい環境への提供に努めた。
利用者様の体調変化や皮膚観察を行い、異常時は速やかに医務・相談員に報告し、対応策を話し合った。毎日の食事を美味しく召し上がれるよう必要に応じ細かくする、食べやすい食器に変えるなどの工夫を行い、他部署とも連携を図り、状態に応じ速やかに食事形態を検討するなどの対応に努めた。
(2)さゆりユニット
利用者台帳、サービス計画書、ケアプランにより、在宅での生活や既往歴の把握を行い、個々に合った適切なサービスを提供することができた。
日々の観察をこまめに行い、体調変化を早期発見出来るよう努めた。
新型コロナウイルスの影響で外出ができなかったため、ユニットでのレクリエーションの充実を図った。毎日リハビリ体操を行い、身体を動かすことに喜びを感じて頂いた。カラオケや書道、DVD音楽鑑賞を行い、楽しんで頂ける環境づくりに努めた。
(3)さくらユニット
自宅と同等の生活が送れるよう、個々の利用者様の生活リズムの把握し、それぞれのペースで生活を送れるように支援した。
利用者様ひとりひとりの訴えや希望に傾聴し、ニーズに沿ったケアを行った。
利用者様のケアについて職員同士で話し合う場を設け、活発に意見交換を行った。
新型コロナウイルス感染防止のため、行事や大がかりなレクリエーションは中止となったが、ユニット内で行えるレクリエーションを提案、実行することができた。
利用者様のその人らしさを尊重し、安心して過ごせるユニットづくりを目指した。
(4)みもざユニット
利用者様一人ひとりの生活環境を職員全員で考え、コロナ禍でも安心して生活できるよう努めた。ケアプランの周知等まだ不足している面があり次年度の課題とし取り組んでいく。年間行事が中止となる中、フロアで出来るレクリエーションを考え、百歳のお祝いや動画鑑賞などを実施することができた。毎朝の申し送りやユニットミーティングで情報の共有をし、より良いケアができるように努めた。

2)　3F 事業報告・活動報告
(1)すみれユニット
利用者様への積極的な声掛けを行い、信頼関係の構築と生活しやすい環境を提供することができた。コロナウイルスの影響により、思うようにレクリエーション行うことが出来なかったため、次年度の課題とする。
利用者様の話を傾聴し、日々の生活の上での不安や悩みに向き合い解消に努めた。
職員間で利用者様の情報を共有し、生活環境の整備を円滑に進める事が出来た。
(2)つばきユニット
利用者様とのコミュニケーション、様子観察の中からニーズを見出し、アセスメント・ケアプランを通じて個々に合わせた支援が出来るよう努めた。
それぞれに合わせたレクリエーションを提供し、生活が活性化出来るよう努めた。実施できなかった利用者様もいた為、次年度は改善できるよう努める。今年度は新型コロナウイルスの影響で外出は出来なかったが、ユニット内で季節に応じたイベントを催し、喜んでいただけた。
出来るだけ多くのコミュニケーションをとり、利用者様が安心できるよう努めた。また、笑顔が引き出せるよう、個々にあったコミュニケーション方法を見出せるよう努めた。
朝の申し送りの際にミニミーティングを行い、職員間で情報共有が出来るよう努めた。利用者様の情報を共有することで、QOL を高められるように努めた。
(3) つつじユニット
利用者様の身体状況を把握し、過剰な介護は行わないように心掛け個々に合った支援を行った。
危険予知を高める為に職員間でミーティングを定期的に行い、環境整備と設備の点検に努めた。
利用者様一人ひとりの性格と気持ちを理解できるよう、表情の観察や傾聴を行い、様子の変化や異常も早期発見ができるよう努めた。
コロナウイルスの影響でクラブ活動や行事が中止となった。次年度は職員間で協力し合い、利用者様に楽しみと喜びを感じて頂けるようフロアレクを積極的に行っていく。

(4)あじさいユニット

新型コロナウイルスの影響でクラブ活動や慰問、及び施設全体での行事を行うことが出来なかったため、ユニット内でのレクリエーションを中心として取り組みを行った。小規模での活動であったが、利用者様に寄り添う、暖かい家庭的な支援が行うことができた。活動の頻度が少なかったことと、利用者様個別のレクリエーション提供が不足していた点を反省点とし、次年度の課題とする。

利用者様とのコミュニケーションを十分にとり、笑顔で安心して過ごすことのできるユニットとなるよう努めた。次年度も引き続きより良い支援ができるよう取り組む。

利用者様の整容の支援を行い、日々の生活を快適に過ごして頂けるようケアを行った。

毎日のユニット内清掃が出来ていなかったことが反省として挙げられる。次年度の課題とする。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1)ひまわりユニット

ご利用者様の個別ケア実施に努めた。新型コロナウイルスの影響で、以前とは異なる生活の中でも可能な限りレクリエーション等を提供する事に努めたが、ご利用者様からは不満の声も聞かれた。体調やＡＤＬの変化があった利用者様が多数いたが、その方の状態に合わせた対応の検討を多職種と連携し、早期に行うことができた。今後もご利用者様とコミュニケーションを取り、過ごしやすい環境を提供する。

(2)コスモスユニット

利用者様の ADL や既往歴を把握し、ニーズに合わせた生活が出来るよう努めた。

コロナウイルスの影響で施設全体での行事やレクリエーションを行うことが出来なかったが、ユニット内でできることを企画し楽しんでいただけた。次年度も職員同士協力し合い、利用者様に明るく楽しんで生活していただけるよう努める。

4) 移動理美容

理容が第 2・4 月曜日の月 2 回、美容が第 1 金曜日の月 1 回来て頂いている。利用者様のご希望によって利用して頂いている。ご家族様、そのご家族様がどの位の頻度で利用されたいか、どの位の長さでカットされたいか等の希望を理容師、美容師に伝え、ご希望に沿うように行えた。

5) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告

勘定科目	内容	金額	勘定科目	内容	金額
介護用品費	オムツ	11,550,143	日用品費	トイレットペーパー、ティッシュペーパー	267,897
	タオル	42,530		ブラシ	201,800
				煎茶	177,556
				その他	368,436
	小計	11,592,673		小計	1,015,689
被服費	寝具設備	3,975,950			
	食事用エプロン	207,108			
	その他	129,283			
	小計	4,312,341			
				合計	16,920,703

○給食費実績：26,614,928 円　○介護用品費実績：11,592,673 円　○医薬品費実績：2,616,485 円
○日用品費実績：1,015,689 円　○被服費実績：4,312,341 円　○消耗器具備品費実績：4,012,604 円
○保健衛生費実績：917,840 円　○車輌費実績：531,218 円　○水道光熱費実績：17,960,328 円

５．厨房事業報告

≪衛生管理・食事提供≫
・衛生マニュアルに従って業務を行い、利用者様に安全で衛生的な食事を提供した。
・手指の洗浄・消毒や衣服の清潔保持、厨房内の衛生管理を衛生マニュアルに従って確実に実施した。
・体調不良時や感染症発生時に備えた連絡経路のマニュアルの見直しと周知の徹底を行った。
・衛生マニュアルに従った業務、非加熱食材の取扱方法、加熱温度と時間の徹底を行い、安全な食事を利用者様に提供した。
・掃除チェック表の活用と毎日全員で清掃する時間を設定し、厨房衛生に対する意識の向上を図った。
・新型コロナウイルス発生時のマニュアルの作成と周知を行い、食事を円滑で衛生的に提供出来る体制づくりに努めた。
・感染対策の為、感染対応者へは使い捨て食器での食事提供を行い、より衛生的に食事を提供できるよう厨房業務の見直しを行った。

≪食事提供≫
・調理マニュアルの見直しを随時行い、味や食材の形態、嚥下調整食の統一を図った。
・食事時間のフロアラウンドと聞き取り、嗜好調査を行い、利用者様のニーズに出来る限り対応した食事を提供した。
・食事満足度向上の為ユニットと協力して食事に関するイベントを開催し、喫食満足度の向上に努めた。

≪行事食・麺の日・出前の日・喫茶の日・誕生日会・選択おやつ・希望おやつ・手作りおやつ実施内容≫
・行事食：月 1 回(正月は三が日)実施。カード装飾や、旬な食材を使用した季節感の取り入れ、食欲が増すようなきれいな盛り付けを行う等工夫を凝らした。
月に１度の行事食は利用者様に特に喜んで頂くことが出来た。今後もバリエーションを増やし、より一層利用者様のニーズに応えていく。
・麺の日：うどんやそば、ラーメン、冷やし中華、そうめん、スパゲティ、焼きそば等を実施した。
・出前の日：鰻…形態に合わせて食べやすい大きさに調整して提供した。
寿司…原則として米飯の方は握り寿司、粥の方には刺身、粥、極菜・ペーストの方は刺身を細かく刻んでたたきにして提供した。生ものが苦手な方には、助六での提供も行った。
・喫茶の日：毎月第 4 日曜日に実施。デザートとコーヒーを提供した。
・誕生日会：毎月第 3 水曜日に実施。誕生月の利用者様には手作りケーキを楽しんでいただいた。

・選択おやつ：月に 2 回実施。複数のおやつを準備し、利用者様１人１人に食べたいものを選んで頂き、提供を行った。
・希望おやつ：月に 2 回実施。利用者様から食べたいおやつを伺い、希望に沿った提供を行った。ユニットで利用者様に手伝っていただきながら作成した事もあり、大変喜ばれていた。
・手作りおやつ：利用者様の聞き取りの際に出た希望をフロア職員と協力し、随時提供を行った。

≪代替食実施状況≫

魚・青魚・鯖・鶏・豚・牛・ﾊﾝﾊﾞｰｸﾞ・納豆・牛乳 刺激物・ｶﾚｰ・ｼﾁｭｰ・麺・ﾊﾟﾝ・生物・あんこ 揚げ物・ゴマ	他の料理で対応

≪選択食実施内容≫

4 月	・鯵の味醂醤油焼き、豚肉の味噌漬け焼き ・鶏肉のトマトソースがけ、煮込みハンバーグ	10 月	・豚丼、親子丼 ・肉豆腐、鯖のおろし煮
5 月	・中華丼、豚丼 ・豚肉の生姜焼き、鶏チリ	11 月	・豚肉の生姜焼き、鰆の和風ステーキ
6 月	・豚丼、中華丼 ・ハンバーグ、タンドリーチキン	12 月	感染症対策の為未実施
7 月	・鶏のマスタードチーズ焼き、鮭のマスタードチーズ焼き ・豚丼、親子丼	1 月	感染症対策の為未実施
8 月	・煮込みハンバーグ、鯖ねぎ味噌焼き ・豚しゃぶ、鯖ゴマ味噌焼き	2 月	感染症対策の為未実施
9 月	・豚肉の味噌漬け焼き、鮭のムニエル ・中華丼、牛丼	3 月	感染症対策の為未実施

≪希望おやつ実施内容≫

4 月	・デコレーションケーキ ・チーズスフレ	10 月	・わたようかん ・わたようかん
5 月	・いちごのチーズムースケーキ ・焼き芋	11 月	・スイートポテト ・お好み焼き
6 月	・あんみつ ・くずまんじゅう	12 月	感染症対応の為未実施
7 月	・チーズケーキ ・あんみつ	1 月	感染症対応の為未実施
8 月	・芋ようかん ・牛乳寒天	2 月	・芋ようかん ・クレープ
9 月	・あんぱん ・焼き芋	3 月	・焼き芋 ・餃子

≪手作りおやつ実施内容≫

4 月	・シフォンケーキ・チーズケーキ ・ねりきり・シフォンケーキ	10 月	・わたようかん・ティラミス ・アップルパイ・チーズケーキ ・わたようかん
5 月	・レモンケーキ・ぜんざい ・パン・チーズケーキ	11 月	・チーズケーキ
6 月	・葛饅頭・チーズケーキ ・芋ようかん	12 月	感染症対応の為未実施
7 月	・ピザ・チーズケーキ ・クレープ・チョコレート	1 月	感染症対応の為未実施
8 月	・パン・チーズケーキ ・おはぎ・チョコレートケーキ	2 月	・たこ焼き・チーズケーキ ・餃子
9 月	・豆腐・チーズケーキ ・クレープ・シフォンケーキ	3 月	・たこ焼き・果物シロップ ・たこ焼き

≪給食懇談会・厨房会議・嗜好調査アンケート結果≫
・毎月各ユニットにて給食懇談会を実施し、食事についての意見・要望や食べやすさ(形状・硬さ等)、食べたい献立についてのご意見をいただいた。
・厨房会議を毎月必ず行い、その月に発生した取り組み課題をまとめ、部署全体での問題解決に努めた。業務の検討や反省・意見交換を行い、意識の統一を図った。
・嗜好調査アンケート結果からリクエスト献立として積極的に人気メニューの提供を行い、喫食率向上に努めた。

≪療養食・栄養ケアマネジメント実施状況≫
・医師の指示のもと、療養食が必要な利用者様に提供を行った。献立や調理を工夫し、なるべく常食と差異を感じずに、おいしくお食事が提供できるよう努めた。
・多職種と連携して利用者様ひとりひとりの状態を把握し、適切にスクリーニング、アセスメント、モニタリングを実施することが出来た。

６．医務室利用者健康管理報告

状態異常時、ご自身の意思伝達が出来る方はその想いを医師へ上申しご本人様の尊厳が損なわれないよう医療介入を行っていった。生活の場であり生活の中で出来うる医療とは何かを考えご利用者様へ寄り添う医療を目指してケアにあたった。また、ご自身の意思疎通が不可な方は相談員と連携しご家族様へ相談し、その想いを抽出しケアに反映させていった。しかし、治療のためにはやむを得ないという場面もあったことから次年度はより利用者様に寄り添う看護を実践していきたい。本年度は常勤者も揃い各フロアへ専属の看護師を配置し、利用者様をより深く知ることで個別性のある看護を行うよう努めてきた。次年度からはフロアの異動も行い、より多くの利用者様を学ぶことで得た情報をチーム内でカンファレンスし、より良い看護を提供できるよう努めていく。

〈医務目標〉
1.　生活を第一に考え寄り添いながら健康状態を把握していく。
日々の関り合いを増やすことで利用者様個人の生活を学び、その方らしい生活が送れるように個別性のある看護を提供できるように努める。
2.　ご利用者様の生活をサポートするため、ご家族様との関りを大切にしていく。
ご利用者様の状態変化時は相談員とともにご家族様へ連絡を行い、ご家族様の思いや希望をケアに反映させていく。
3.　多職種連携を図るため報告、連絡、相談を密に行っていく。
状態観察や医務診察で知り得た情報は、チームとして連携できるよう各部署と共有して包括的に利用者様をケアできるように努める。
4.　状態の変化や異常を早期発見し安定した生活をサポートしていく。
日々の状態の変化に俊敏に対応し、必要時提携病院へと上申を行い医師と連携を図ることで早期に状態異常へのアプローチができるように努める。
5.　専門職として日々新しい知識を学び、看護の質の向上を図る。
日々更新されていく医療情報やケアの方法論を、個々人が興味を持ち新しい知識を吸収できるよう取り組む。また、学んだ情報は共有しチームとしての知識向上も図る。

（1）フロアナース制にすることにより、担当フロアの利用者様との関りを増やし、個別性を理解し学んでいった。そして、利用者様のヒストリーを学び個別性のあるケアを行った。今後も利用者様の個別性を学ぶとともにチーム内で共有しより良いケアに繋げていきたい。
（2）状態変化時は相談員と共に電話連絡を行い、ご家族様の考えや想いを抽出した。ターミナル中などで経過の長い利用者様も、相談員からのアドバイスでご家族様と連絡を密に行いご家族様の想いを反映させていくことができた。今後も包括的な視点で利用者様と関われるよう努めていきたい。

(3) フロアナース制により、知り得た情報は適宜報告し情報共有に努めた。しかし情報伝達が行き届かないスタッフもおり周知出来ていなかった場面もみられるため、より密に情報共有を行っていきたい。
(4) 状態変化時は速やかに提携病院へ上申し医師との連携を図ることができた。また、重篤なケースは協力病院へと早期受診に努め状態異常時の早期アプローチを行うことができた。
(5) 医療処置の方法論や使用薬剤などは日々新しく更新されていくことから知識に貪欲である姿勢が大事であると思います。受診時に知らない軟膏での処置の指示がでたりする場面などもあり、その薬剤とは何か、創部はどのように変化したか等、新しい知識をしっかりと積み重ねていった。新しい知識はチーム内で共有し利用者様へのケアに繋げていくよう引き続き知識の向上に努めます。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4 月	3 名	1 名	1 名
5 月	6 名	4 名	1 名
6 月	11 名	1 名	2 名
7 月	7 名	0 名	0 名
8 月	16 名	1 名	1 名
9 月	20 名	0 名	0 名
10 月	7 名	1 名	0 名
11 月	1 名	14 名	1 名
12 月	6 名	8 名	15 名
1 月	11 名	0 名	0 名
2 月	10 名	0 名	0 名
3 月	6 名	4 名	3 名
	年間通院者数 104 名	年間入院者数 34 名	年間退院者数 24 名

3 月 31 日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	5 名
点滴施行者	11 名
血糖測定者	0 名
在宅酸素使用者数	0 名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	0 名
褥瘡処置施行者	3 名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	80 名
ターミナルケア対応者	20 名
合計	119 名

2020 年度死亡退所者

入院先での死亡者	7 名
施設内での死亡者	3 名
施設内ターミナルケア対応　死亡者	14 名
合計	24 名

７．リハビリテーション報告

(1) 総括

2020 年度のリハビリにおいて、利用者様の自然な笑顔を引出し、意欲的にリハビリを行っていただけるように努めました。また利用者様の既往歴・現病歴の把握、他職種との情報共有などを行い、より安全にリハビリを実施できるように努めました。顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の心身の状態、施設内での生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指しました。

(2) 実施事項

①理学療法士による評価・機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
②四肢関節可動域訓練
③基本動作訓練（立ち上がり、座位保持など）
④筋力訓練・歩行訓練
⑤体位交換や除圧方法の検討
⑥車椅子の整備
⑦利用者様とのコミュニケーション
⑧靴の選定
⑨センサー・エアーマットの管理

(3) 結果

利用者様とのコミュニケーションをたくさん行う事で、より良い関係性を築け、リハビリ中の笑顔が多く見られるようになりました。また、他部署との連携をより密にとり、利用者様一人一人の情報共有を行うことができました。
また利用者様の状態に合わせてリハビリを行うことでより安全にリハビリを行うことが出来ました。ポジショニングについては褥瘡の増悪が見られたケースがある為、今後も安楽な姿勢の保持に努めていき、褥瘡防止を図っていきます。

・大腿骨手術後、おむつ対応だったがトイレを使用できるようになった例
もともと独歩で歩かれていた方でしたが転倒され大腿骨の骨折をしてしまいました。病院にて手術後、退院されました。退院時は車椅子での生活で排泄交換時も終日おむつ対応となっていました。最初は立位も恐怖感があり不安定な様子が見られていました。
リハビリを行い、恐怖感の緩和に努めていき、現在はトイレを使用できるまで立ち上がりが出来るようになりました。また、以前のように少しずつですが歩行も行えるようになりました。

(4) 課題

今後も他部署との連携を深め、利用者様一人一人に合わせたリハビリを行っていくとともに、より良い関係性を築き上げていく。
利用者様の笑顔をより多く引出し、楽しく生活していける環境作りに努めていく。
今年度は褥瘡の増悪のケースが見られていた為、より他部署との連携を密にし、褥瘡の早期改善、発生予防に努めていきます。また、令和 3 年度は新入社員も入職されるため、褥瘡やポジショニング、移乗動作等の知識の共有を行っていきます。

８．生活相談員・介護支援専門員　事業報告

１、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置して、日頃から利用者様へのご様子や状態確認の声掛けや観察を行い、介護現場職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署、またご家族からも利用者様の情報を集めて、またそれを各部署へ発信し、お一人おひとり利用者様の環境を整えていくよう努めた。生活相談員がユニット内を回り、利用者様への声掛けや職員から情報をもらい利用者様のご様子を確認して、ご本人のニーズを把握する。その情報を多職種でアプローチできるように調整を行い、解決できるよう支援を行った。また、利用者懇談会を適宜実施して、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けた。ターミナルケア導入時のカンファレンスは、ご家族のご意向などを踏まえて、今まで以上により細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たっていくように努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族様のケアにも重点を置いて取り組んでいった。今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有をうまく行い、利用者様、そしてご家族様へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底をして、より良い多職種連携のシステムを作っていきたい。

２、ご家族様、施設間調整

施設と利用者様ご家族との橋渡し役として利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族との関係調整役として動いたことで、それぞれのご家族より安心して利用者様を任せていただけた。コロナ禍ということもあり、リモート面会での対応となっている中でも、お電話で情報共有することで信頼関係を今まで以上に築くことが出来たのではないかと思う。ご家族様と協力してご本人の生活を支援できた。今後もご家族への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面でのご家族への連絡は看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっているため、ご家族様も安心されている様子である。今後も細かく連携を行っていきたいと思っている。

３、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方が相談にいらした時に、その方にとって当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、まずその人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、利用者様入所時にはご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有してケアができるようにした。

利用者様が施設へ入所する前の事前面接を近隣の場合はコロナ禍であっても行うことができたため、今後も可能な限り、相談員と多職種にて事前面接を実施していき、入所前の情報共有を進めていく。

４、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に各フロアの相談員が職員のスパーバイザーとなり、フロアをラウンドする際等に利用者様に対するケアや対人への態度等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役としても担えた。

５、営業について

コロナ禍ということもあり、営業については電話でのやり取りしかできなかったが、近隣の居宅サービス事業者との関係性は良好である。また『西多摩特養ガイド』より、都区内からの問い合わせや見学、申し込みも増えてきて、対応させていただいている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に一言付け加えたり、施設見学などは随時承り、施設をアピールすることに努めた。その結果、「色々なところを問い合わせたけれど、ここまでやってくれた施設はなかった。」等の声をご家族様よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族様に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

＊介護支援専門員事業報告について

① 入所前の情報収集について

入所前に、生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるように、支援を続けた。２４時間シート作成も継続して行い、注意点などを指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様の支援をしていった。

把握しきれない事もあるため、入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

② ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を暫定に作成し、ご家族・ご本人に説明・同意をしていただいた。そして１か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活が送ることが出来るよう、新規プランを作成した。

またＡＤＬの変化が著明に表れた時には、緊急カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成すると共に支援できるように努めた。また、目標に関してはより具体的な言葉で、その利用者様のことを考えながら作成するよう努めた。

新規プランに関しては、ＡＤＬに変化がなかった場合には３か月、更新に関しては６か月と設定。ＡＤＬに変化があった場合には期間は３か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケアに入った方に関しては、状況把握に努め３か月に１度の見直しを行い、計画書を作成することになった。

③ モニタリングについて

１か月ごとに支援経過としてモニタリングを行い、ご利用者様の状態を把握していた。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に３か月後・６か月後の２回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。

またターミナルケアの方については、３か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

④ ケース会議について

毎月第２火曜日・第３火曜日・第４火曜日の午後に開催予定とし、ケース会議を行った。職種間調整が難しい場合には、介護支援専門員による聞き取りを行ったが、基本的には調整をして、ケース会議を開催。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握。プラン作成に繋げた。またケース会議のコーディネート・進行して、各職種の専門性を尊重するようにまとめるよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

⑤ 介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に話をしていき、利用者のニーズに沿えるように注意を払っていった。

今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努めて行きたい。

９．クラブ活動実績報告

① クラブ活動について
コロナウイルス感染症の影響により講師の先生に来ていただくことができなかったため、通常のクラブ活動はすべて中止となった。
華道クラブのみ、職員を中心にユニットごとに活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華　道	根守　和子先生
茶　道	大野先生・森田先生
書　道	石井　亮子先生
音　楽	澤田　康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	6 回	参加延人数	140 名	平均参加人数	23 名	担当：井上

【活動報告】
1. 施設職員が講師となり、活動を行った。
2. 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。
3. 久しぶりの活動で、利用者様に大変喜んでいだけた。

【月別活動報告】

月	内容	月	内容
4 月	フラワーアレンジメント	10 月	〃
5 月	〃	11 月	感染症対応の為、活動なし
6 月	〃	12 月	〃
7 月	〃	1 月	〃
8 月	〃	2 月	〃
9 月	〃	3 月	〃

職員担当フロア：各フロア職員

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：柴田

【活動報告】
1. 感染症対応のため、活動はすべて中止となった

【月別活動報告】

月	内容	月	内容
4 月	感染症対応の為、活動なし	10 月	感染症対応の為、活動なし
5 月	〃	11 月	〃
6 月	〃	12 月	〃
7 月	〃	1 月	〃
8 月	〃	2 月	〃
9 月	〃	3 月	〃

職員担当フロア：3Ｆ東

書道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水

【活動報告】
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった

【月別活動報告】

月	内容	月	内容
4 月	感染症対応の為、活動なし	10 月	感染症対応の為、活動なし
5 月	〃	11 月	〃
6 月	〃	12 月	〃
7 月	〃	1 月	〃
8 月	〃	2 月	〃
9 月	〃	3 月	〃

職員担当フロア：2F 東

音楽クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水

【活動報告】
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった。

【月別活動報告】

月	内容	月	内容
4 月	感染症対応の為、活動なし	10 月	感染症対応の為、活動なし
5 月	〃	11 月	〃
6 月	〃	12 月	〃
7 月	〃	1 月	〃
8 月	〃	2 月	〃
9 月	〃	3 月	〃

職員担当フロア：2F 西

フラサークル
・感染症対応の為、活動は中止となった。

クラブ活動費実績：157,936 円

10. 年間行事実施報告

第３サンシャインビラ
2020 年度「年間行事計画実施表」

日　時	曜日	行　事　名	内　　容
4 月 18 日	土	観桜会	新型コロナウイルス対策の為中止。ユニット単位で「花見」行う。
5 月 21 日	木	運動会	新型コロナウイルス対策の為中止。ユニット単位で「運動会」行う。
7 月 18 日	土	納涼祭	新型コロナウイルス対策の為中止。ユニット単位で計画した催しを行う。
8 月 5 日	水	夕涼み会	新型コロナウイルス対策の為中止。
9 月 12 日	土	敬老会	新型コロナウイルス対策の為全体での敬老会中止。ユニット単位で行う。
9 月 27 日	日	八幡神社例大祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
9 月・10 月中		ドライブレク	新型コロナウイルス対策の為中止。
10 月中（未定）		日の出町敬老会	新型コロナウイルス対策の為中止。
10 月 31 日	土	文化祭	新型コロナウイルス対策の為中止。ユニット単位で計画した催しを行う。
11 月中（未定）		日の出文化祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
12 月中		クリスマス会	新型コロナウイルス対策の為中止。
1 月 2 日	土	元旦式典	新型コロナウイルス対策の為中止。
1 月１・２・３日		初詣	新型コロナウイルス対策の為中止。
1 月 13 日	水	餅つき	新型コロナウイルス対策の為中止。
2 月 3 日	水	豆まき	新型コロナウイルス対策の為中止。ユニット単位で「豆まき」を行う。
3 月 4 日	木	ひな祭り	新型コロナウイルス対策の為中止。

行事費実績：132,729 円

11. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

○事務消耗品費：10,069,494 円
○通信運搬費：875,385 円
○手数料：4,767,790 円
○土地・建物賃借料：90,000 円
○渉外費：20,000 円
○印刷製本費：266,065 円
○広報費：2,045,285 円
○保険料：657,528 円
○租税公課：182,080 円
○諸会費：199,900 円
○修繕費：1,375,254 円
○業務委託費：6,186,276 円
○賃借料：3,802,068 円
○保守料：2,478,979 円
○雑費：904,546 円

12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

自治体への事故報告

	転倒	転落	その他	計
4 月				
5 月				
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
10 月				
11 月	1		14	15
12 月			1	1
1 月	1			1
2 月				
3 月				
合計	2	0	15	17

アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4 月	5		1	11	17
5 月	8		1	13	22
6 月	10			6	16
7 月	10			11	21
8 月	2			23	25
9 月	6		1	24	31
10 月	5		1	8	14
11 月	3			3	6
12 月	4			2	6
11 月	1			4	5
2 月	1		1	2	4
3 月	3			3	6
合計	58	0	5	110	173

ヒヤリハット報告

4 月	31
5 月	30
6 月	19
7 月	24
8 月	32
9 月	66
10 月	59
11 月	27
12 月	20
11 月	16
2 月	23
3 月	19
合計	366

13．職員研修報告

【外部研修】

研修日	研修内容	参加者
6 月 24 日	医療的ケア教員講習会	久保山昭
9 月 11 日	保健所の新型コロナウイルス感染症対応の実際	木村公紀
9 月 18 日	安心・安全な認知症ケアの基本	谷合祥悟
10 月 16 日	起き上がり・移乗・移動に潜むリスク管理の基本	谷合祥悟
11 月 1 日	2020 年度医療スキルアップセミナー	木村公紀
11 月 3 日	第 2 回ヘルシーフードＷＥＢセミナー	木村公紀
11 月 18 日	今求められる高齢者の栄養管理	木村公紀
11 月 21 日	食事・嚥下に潜むリスク管理の基本	木村公紀
1 月 17 日	令和 2 年度集団指導（特別養護老人ホーム）	篠﨑哲一
1 月 25 日	第 2 回秋川流域感染対策ネットワーク （AKINET）フォーラム 「地域の新型コロナウイルス感染症対策」	小澤俊太郎・久保山昭 中嶋弘美・木村公紀 管野哲也・篠﨑哲一
2 月 5 日	令和 3 年度介護報酬改定勉強会	篠﨑哲一
2 月 12 日	令和 2 年度集団指導（短期入所生活介護）	中嶋弘美
2 月 21 日	これからの栄養部門マネジメント	木村公紀
2 月 28 日	令和 3 年度介護報酬改定セミナー	木村公紀
3 月 26 日	第 21 回ヘルシーネットワークセミナー2021	木村公紀

【内部研修】

開催月	研　修　内　容	講　師
随時	新人教育研修	
4 月	感染症について	久保山昭
5 月	褥瘡予防について	谷合祥悟
6 月	看取り介護について	篠﨑哲一
7 月	事故防止・緊急時の対応について	川久保翼
8 月	ケアプランについて	石川総恵
9 月	身体拘束・人権擁護について	飯島滉介
10 月	感染症について	高橋偉治子
11 月	認知症について	伊沢利恵
12 月	虐待について	三好賢
1 月	事故防止・身体拘束について	梶本瑠璃鈴
2 月	プライバシーについて	堤竜司
3 月	メンタルヘルスについて	久保山昭

※毎月　福陽会理念に対する研修を行う

開催月	ユニット単位対象　研修内容	担当者
5 月	食事について	木村公紀
7 月	入浴介助について	三浦京子
11 月	口腔ケアについて	堤竜司
1 月	排泄介助について	坂口連太郎
3 月	接遇について	嶋崎和美
3 月	接遇について	篠﨑哲一

旅費･研修費実績：432,247 円

14. ボランティア・慰問　受け入れ状況報告

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの新規受入れや交流、活動が中止となった。利用者様はボランティアや慰問を楽しみにされており、次年度はリモートを活用した活動を行えるよう、日の出町社会福祉協議会とも連携し準備をしていきたい。

・2019 年度新規ボランティア活動登録者
　なし

15. 消防訓練実施結果

2020 年度は震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。また、消防訓練参加者チェック表を作成し、一人でも多くの職員に参加してもらうようにしたことにより、防災に対する意識づけができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止の観点から、12 月以降は職員が集まって行う訓練を中止にした。

【2020 年度訓練内容】

実施日	訓練種別	内容
4 月	消火通報訓練	消火器及びスプリンクラー設備の取扱い訓練・119 番通報要領訓練 参加者全員が消火器を使用した訓練を行った。
5 月	総合訓練 （夜勤帯想定）	地震・火災を想定した一連の訓練 火点を事前に知らせずに訓練を行い、実践に備えた。
6 月	その他訓練	地震による電気設備等の使用不可を想定し、非常食を職員で調理した。 非常食等の保管場所の確認ができた。
7 月	防災ビデオ上映	災害についての意識付けを行う 休憩室にて上映を行い、多くの職員への意識付けが出来た。
8 月	総合訓練 （夜勤帯想定）	地震・火災を想定した一連の訓練 限られた人数しかいない事を想定し訓練を行った。
9 月	総合訓練 （日勤帯想定）	地震・火災を想定した一連の訓練 消火栓を使用した放水訓練、指導を行った。
10 月	消火通報訓練	火災受信盤の操作、館内放送、119 番通報および消防署との対応方法の訓練 写真を取り入れ、火災受信盤の操作方法を分かり易く掲示した。
11 月	その他訓練	地震による電気設備等の使用不可を想定し、非常食を職員で調理した。 非常食等の保管場所・ガス設備操作方法の確認ができた。
2 月	その他訓練	地震・火災を想定し職員連絡網による連絡訓練。 全職員に連絡が伝わるまでの時間を計り、所要時間の確認ができた。

16. ショートステイ事業報告

コロナ禍ということもあり、年度初めから緊急事態宣言も重なり、ショートステイの稼働率が全く伸びなかった。受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族様の負担軽減を図るように努めた。その結果、ご利用者様・ご家族様・担当ケアマネジャーより利用しやすいなどの声を多くいただいた。繰り返し利用して下さる利用者様の獲得は出来ているが、感染予防対策として、入所後５日間は居室隔離対応を実施しているため、中々利用するまでに至らないケースが多かった。また１１月には新型コロナウイルスが蔓延してしまい、稼働が一気に落ち込んでしまった。特養入所を見据えた利用者様の確保をして稼働を大幅に戻していきたい。また今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めて行きたい。

2020 年度稼働率

４月	５月	６月	７月	８月	９月
51.66%	52.58%	77.33%	61.29%	86.45%	89.33%

１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
85.48%	77.66%	73.87%	46.77%	41.78%	26.45%

介護報酬収入等年間実績 30,759,866 円

2020 年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)

事 業 報 告 書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション　サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 22861.1 時間（前年度 23428.5 時間）、派遣回数延べ 28,201 回（前年度 27,702 回）、月平均にすると 1,905 時間（前年度 1,952 時間）、2,350 回（前年度 2,309 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1,099 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 97 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 154 時間、派遣回数延べ 180 回、月平均にすると 12.8 時間、15 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 116 時間、派遣回数は延べ 166 回、月平均では 9.6 時間、訪問回数は 14 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの図り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

(1) 中期経営計画(2018 年度～2022 年度)の達成について

Ⅰ　利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。

Ⅱ　中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。

Ⅲ　安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4 月 22-25 日	新人職員研修（随時） 老人を狙った犯罪 訪問先への責任者同行実施研	47
5 月 27-30 日	新人職員研修（随時） 高齢者虐待について	45
6 月 24-27 日	薬について	43
7 月 29-31 日	薬の基礎知識 事例検討 感染症・食中毒について　熱中症対策	45
8 月 26-29 日	感染症・食中毒について　　認知症について 事例検討	44
9 月 23-26 日	医療との連携について　　医療関係用語 事例検討	43
10 月 28-31 日	高齢者虐待について プライバシー保護の取り組み 高齢者虐待について	43
11 月 25-28 日	状況の観察と緊急時の対応	43
12 月 23-26 日	事故発生、再発防止に関する研修 ヒヤリハット事例検討	44
1 月 27-30 日	介護職員のコミュニケーションスキル 事例検討	46
1 月 7-31 日	防護服着脱研修	46
2 月 26 日	認知症について 職員倫理　法令遵守 事例検討	47
3 月 24-27 日	実技研修 令和元年度を振り返り　自己反省・自己評価	47

職　員　配　置

（2021 年 3 月 31 日現在）

職　種	人数	常　勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	4	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	48	（常勤兼務４名） 常勤 9 名 非常勤 39 名	

令和２年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書　目次

事業報告(総括)　…… 1

地域別受講人数一覧表　…… 2

教育課程の実施報告　…… 3～4

事 業 報 告

令和２年度の「介護職員初任者研修講座」は、コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言が年度内２回発令されたことにより２回の実施となった。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子がうかがえ、活気に満ちた研修内容であった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

令和２年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

令和２年度　地域･男女別受講人数一覧表

	第１回	第２回	第３回	第４回	合計
福生市		1	5		6
羽村市		3			3
青梅市		3	2		5
あきる野市		2	5		7
昭島市		2	5		7
立川市					
瑞穂町					
武蔵村山市			1		1
東大和市					
東村山市					
八王子市		1			1
日の出町					
府中市					
奥多摩町		1			1
その他		2	2		4
合　計	0	15(7)	20(5)	0	35(12)

※(　)内は男性

教育課程の実施報告

（募集手続き）

募集手続きは次の通りとした。

（１）当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。

（２）当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。

（３）受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。

（４）当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。

（５）当法人は、受講申し込み時または受講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

（科目の免除）

科目の免除についてはこれを認めない。

（修了の認定）

修了の認定は、第９条に定めるカリキュラムを全て履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

（１）修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。

（２）修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。

（３）認定基準は、次の通り、理解度の高い順にA、B、C、Dの４区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（１００点を満点とする）

A＝９０点以上、B＝８０～８９点、C＝７０～７９点、

D＝７０点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱８に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：http：//www.fukuyokai.com）において開示する内容は、以下の通りとする。

（１）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（２）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和2年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書　目次

事業報告(総括) …… 1

地域受講人数一覧表 …… 2

教育課程の実施報告 …… 3～6

事 業 報 告

令和２年度は、緊急事態宣言発令により、１回目を休講としたが、受講希望も多く、厳しい環境を考慮し、１コース追加して計画通り４回の研修を実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験３年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、50 時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに 7 時間の医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、卒業生や紹介による受講生が増えるなどだいぶ浸透すると共に、担当講師の情報交換・研修の活性化・レベルアップで、高齢者介護に対する知識・技術の向上を図り地域社会にも貢献することができた。

令和２年度　地域･男女別受講人数一覧表

	第１回	第2回	第3回	第4回	第5回	合計
福生市		5	2	7	4	18
羽村市		2		1	3	6
青梅市		3	2	1	3	9
あきる野市		6	3	3	2	14
昭島市			2	2	1	5
立川市		2	1	1		4
瑞穂町		1	1			2
武蔵村山市		2			3	5
東大和市		1		2	1	4
東村山市		1				1
八王子市					1	1
日の出町		1	1		1	3
府中市			1			1
奥多摩町						
その他		1	3	1		5
合　計	0	25(7)	16(2)	18(4)	19(5)	78(18)

※(　)は男性

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			１級	２級	３級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（ｽｸｰﾘﾝｸﾞ）	45 8 日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだのしくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだのしくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（ｽｸｰﾘﾝｸﾞ）	12 2 日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

（１）学院長　　１名
（２）教　員　　２４名
（３）事務員　　１名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

（入所資格）

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

（入所選考、入所手続）

（１）本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
（２）本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
（３）受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
（４）本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
（５）本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
・運転免許証の提示　・健康保険証の提示　・パスポートの提示・年金手帳の提示　・住民基本台帳カードの提示　・在留カード等の提示
・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出　等

（研修欠席者の扱い）

理由の如何にかかわらず、研修開始から５分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

（休学について）

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で６ヶ月とする。

（受講の取り消し）

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

（１）学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者

（２）研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者

（３）法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

（補講の取扱い）

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね１割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

（修了の認定）

修了の認定は、第９条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の３分の２に満たない者については、修了の認定をしない事とする。

認定方法については、以下の通りである。

（１）添削科目については、科目ごとにレポート（課題）を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの４区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（１００点を満点とする）
A＝９０点以上、B＝８０～８９点、C＝７０～７９点、
D＝７０点未満

（２）介護過程Ⅲについては、講義・演習で小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

（３）医療的ケアについては、下記の通りとする。

・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準Ａを合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。

・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

（使用教材）

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』　株式会社日本医療企画 全８巻セット

（修了者管理の方法）

修了者管理については、次により行う。

（１）修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。

（２）修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

（その他事項）

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

（１）研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。

（２）事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。

（３）受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2020年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（2021年3月31日現在）

職名	職員配置	
管　理　者	1	常勤
事　務　員	1	常勤
調　理　員	6	非常勤
夜間待機職員	9	非常勤
介護スタッフ	10	非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】　（人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者				3	1	1		1	1		1		8
退去者			1	1	2			1	1			1	7

【入居年数分布】　（人数）

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
7	8	11	5	8

【退去先】　（人数）

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	1
第3サンシャインビラ入所	
転居・入院	2
死亡	4

【入居者の状況】（3.31現在）

介護度　　（人数）

自立	要支援１	要支援２	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　　計
	1		6	13	6	8	5	39

男・女　年齢分布　　（人数）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男	1	2	3	3	2
女				13	15
合　計	1	2	3	16	17

【年間行事実績】

催し	日程
ﾏﾝｼｮﾝｴﾝﾄﾗﾝｽ前で　すいか割り（第1回）	8/25
ﾏﾝｼｮﾝｴﾝﾄﾗﾝｽ前で　すいか割り（第2回）	8/26
茶話会（ﾏﾝｼｮﾝｴﾝﾄﾗﾝｽで）	9/19
クリスマス会（B1食堂にて）	12/24
ﾏﾝｼｮﾝｴﾝﾄﾗﾝｽ前で　お花見会（第1回）	3/26
ﾏﾝｼｮﾝｴﾝﾄﾗﾝｽ前で　お花見会（第2回）	3/27
消防訓練及び火災通報装置の説明他	6/17　11/11

【クラブ活動】新型コロナウィルス感染症の予防のため中止

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙